大阪電気通信大学同窓会組織

ゆうでんかい 大阪電気通信大学友電会

No.142
2025.9

YUDENKAI

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University

夢を形に ～建築現場で活躍する若きOG・OB　恩師とともに～

















2018年度に開設された建築学科。卒業して3年、現場でたくましく働く若き建築家たち
彼らの夢の設計図はまだ基礎段階、現場で鍛えられた先輩を招いた学部生の「キャリア設計」

ゆうでんかい

大阪電気通信大学同窓会組織友電会会誌

Contents

03 25年度定時社員総会報告
*事業報告 ……会長 廣谷 明
*決算報告
*事業計画
08 記念講演 …… 副学長 渡部 隆志
10 懇親会の様子
12 時代が求める教育を学生に
…… 学長 塩田 邦成
13 新学校法人理事にインタビュー
…… 法人理事 谷原 徹
14 社会基礎力に関する考察 キャリアセンター
・独自調査(2022-2025)と
日経キャリアマガジンとの比較検討
19 オランダ留学生の滞在記
20 海外研修生紹介 ～大電大生の海外体験記～
22 現役学生の活躍
～若年会員起業支援事業～ Create For Smile
…… 北澤 誠男
24 活躍するOB訪問
…… ハーテック 山田 利明 氏
26 18番目の支部誕生
「産学マッチング支部」 …… 支部長 大平 富義
27 友電会社員の改選について(お知らせ)
28 給付奨学制度への協力依頼
30 顧問弁護士の就任挨拶
野村総合法律事務所…… 窪田 誠也 氏
32 会員からの便り「北から南から」
33 社員(代議員)紹介
累計数と学科・学部の変遷
36 支部規程の一部改訂と支部との連携
39 支部総会のスケジュール(予定)

表紙の説明

「建築学科「キャリア設計」の授業 2025年6月

2025年6月、卒業生を招いた「キャリア設計」の授業が現役3年生を対象に開講された。この授業は、建築・建設業界や関連職種に就いて入社3年前後の卒業生が現場の経験やキャリア形成について話を聞くもの。

現役学生が業界の理解を深め視野を広げること、夏のインターンシップに向けて自主的に行動できることを目的としている。

講師を務めた卒業生に授業の感想を聞いた。

授業(キャリア設計)後の教員との懇親会に参加した卒業生たちからは、「初めは距離を感じていた在学生たちも、私たちがいきいきと社会で活躍している姿を五感で感じ、次第にフランクな質問も増え、社会人になるための心構えを積極的に持ちつつあると感じました。」などの意見があった。

先生方からは、「学生時代に見せたことがなかった社会人としての立派な受け答え」に誇りを感じておられた。

新しくなった建築・デザイン学部の今後の変化に、より立派な社会人を育成される期待を寄せていた。

編集後記

25年夏、梅雨が1月早く明けた。その後の気温上昇は、異常気象の極みである。

コメ不足と騒がれたのも記憶に新しい。

日本の18歳人口減少時代に母校はどう対応するかが問われている。学科の改組・学部開設や充実したキャリア教育さらに国際的教養を育てる環境整備など改革が進んでいる。今、イノベーションは学外の大学(大経大、京都文教大)連携につながった。

ダイナミックな変革の中にあり友電会がなすべきことは何かを考えて取材した。皆様のご意見をぜひ、お寄せください。

(事務局)

表紙題字「ゆうでんかい」は 故 田崎 秀夫 元学長著

ホームページ https://yudenkai.or.jp/

友電会への連絡は e-mail でお知らせください
友電会事務局 info@yudenkai.or.jp

2025年9月5日 第142号

発 行 所 / 一般社団法人大阪電気通信大学友電会(同大学同窓会組織)
YUDENKAI The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University
〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530

友電会直通 / TEL 072-824-3111 FAX 072-824-1197
発行責任者 / 一社法人友電会 廣谷 明
編 集 / 一社法人友電会 企画広報部会、事務局
資料提供 / 大学法人大阪電気通信大学
寄 贈 先 / 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会並びに国立国会図書館逐次刊行物部 その他
印 刷 / 株式会社シンコーアドヴァンス
発 送 / ディング株式会社



友電会事業の2024年度の達成と今後への活動展開について

一般社団法人 友電会会長　廣谷（ひろたに）　明（あきら）

1，はじめに

「友電会」は、同窓生の友好と親睦の機会にとどまることなく、とくに「法人としての使命を自覚」し、地域社会に貢献できる事業の推進が求められています。

運営上の課題としては、会員総数が、約5万9千（6万人近く）になりましたが現在、連絡が取れる会員は、「3万7千人」にとどまっています。

OB会員の掘り起こしとともに、準会員からの継続的な「つながり」を求める取り組みがとくに、重要となっています。

2024年度の取り組み重点は、次の3点でした。

（1）　1つ目は、役員アピールシートによる『活動の見える化』に努めました。役員個々の部会活動への積極的な関り方や自己目標を立て、役員としての建設的なリーダーの育成に努めました。

（2）　2つ目は、理事会と部会の連携強化に努めることを基調とし、各部会名を、「企画広報部会」、「組織支援部会」、「事業推進企画部会」と「事務総括・財務部会」の4部会で事業推進を行いました。名称の変更によって、各部会が取り組む内容の『見える化』に努めました。

（3）　3つ目は、広報誌やホームページを活用したICT化の推進に努めました。

それらの取り組む重点をもとに具体的には、

① 規則の制定・改正として『慶弔規程』および『災害被害者支援規程』を新たに整備をおこない、支部規程の改正に加え、法人理事候補者選考規程、法人評議員選出規定、選挙管理規定の整備をおこないました。

② 次に、支部の活性化と若年層の会員勧誘として、新たに『OB柔会』を支部を設立できました。
また、各支部での総会で在学生との交流を深める機会を設け、準会員とのつながりを意識しての取り組みが進められました。

③ イベントでは、大学祭期間中にeスポーツ大会を開催し多くの参加者で盛況となりました。
また、学生組織「なわフェス」との連携によるホームカミングデーを実施し、世代を超えた交流を図ることができました。

④ 給付奨学金の支給枠を5名から6名に拡充し、寄付活動により約30万円の追加資金を確保できました。

⑤ 若年会員起業支援事業では、建築学科の学内ベンチャーから継続申請があり、ヒアリングをおこないました。

⑥ また、台湾の大学との技術・研究連携についても支援し、大学への橋渡しをおこないました。

⑦ 広報活動では、機関誌『ゆうでんかい』を年2回発行し、会員アンケートを反映して内容を充実させることができました。また、ホームページのリニューアルや、社員向けメールマガジンの配信も開始し、情報発信体制ができました。

以上が2024年度の事業実施概要となります。

2024年度　決算報告

目立った貢献事業“どこにお金を使ったの”？
2024年度の事業費で2023年度に比べて増えているのは、イベント費と若年会員起業支援金です。

1．イベント費

1.1 eスポーツ大会の主催

事業報告で報告したとおり、大学祭期間中に友電会主催でeスポーツ大会を開催しました。 300名を超える参加者が集まった盛大な大会となりました。

1.2 ホームカミングデーの開催

四條畷キャンバスで開催された、「なわフェス」期間中にホームカミングデーを実施しました。元OSKメンバーお招きしてダンスショーを開催しました。このショーには現役学生のダンス部とのコラボも実施し、幅広い年代との交流できる機会を提供できました。



2．若年会員起業支援金

2.1 若年会員起業支援事業に、昨年に引き続き建築・デザイン学部の学内ベンチャー企業「Create for Smile」から申請がありました。活動報告と今後の事業継続のヒアリングを行い支援の継続を決定しました。

受取会費（新入学生の入会費）費用が減少する中で、経費削減を行い、正会員及び準会員の両方が楽しめるイベント支援を行っています。
（企画広報部会　杉田）

監査報告

実施日　令和７年５月１０日
内　容　令和６年度監査
（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

監事　山崎　貞彦
監事　福田　真規夫

事業報告、収支決算報告、その他帳票等について、法令及び一般社団法人　定款に基づき適正に示されていると認めます。

図１　2025年度社員総会議事資料

正味財産増減計算書
（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

（単位:円）

科　目	2024年度	2023年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1　経常増減の部			
(1)　経常収益			
受取会費	28,320,000	29,940,000	△ 1,620,000
正会員受取会費	28,320,000	29,940,000	△ 1,620,000
受取寄付金	379,558		379,558
受取寄付金	75,558		75,558
給付奨学寄付金	304,000		304,000
雑収益	114,992	1,879	113,113
受取利息	114,992	1,879	113,113
経常収益　計	28,814,550	29,941,879	△ 1,127,329
(2)　経常費用			
事業費	16,733,530	19,596,727	△ 2,863,197
機関誌制作関連費	3,496,809	5,800,328	△ 2,303,519
給付奨学金	2,160,000	1,800,000	360,000
会員助成費	123,750	247,500	△ 123,750
総会費	1,066,090	1,075,762	△ 9,672
支部運営助成費	3,317,365	2,369,803	947,562
準会員助成費	2,403,500	2,412,550	△ 9,050
教育研究促進関連費	333,018	430,594	△ 97,576
クラブ活動助成金	500,000	500,000	0
名簿作成費	468,710	336,710	132,000
60周年記念事業費	0	4,623,480	△ 4,623,480
イベント費	1,861,288		1,864,288
若年会員起業支援金	1,000,000		1,000,000
管理費	15,253.401	14,628,101	625,300
給与手当	6,273,825	5,745904	527,921
法定福利費	49,153	34,395	14,758
福利厚生費	99,500	89,250	10,250
雑給	155,967	235,587	△ 79,620
広告宣伝費	257,900	528,000	△ 270,100
交際費	322,202	278,660	43,542
会議費	251,555	167,547	84,008
旅費交通費	4,771,663	4,272,257	499,406
通信費	310,086	424,439	△ 114.353
事務用品費	565,928	550,100	15,878
支払手数料	415,305	408,210	7,095
租税公課	108,860	127,481	△ 18,621
支払報酬	933,109	882,049	51,060
減価償却費	648,251	749,156	△ 100,902
遅延資産償却費	90,044	135,066	△ 45,022
雑費			0
経常費用　計	31,986,931	34,224,828	△ 2,237,897
当期経常増減額	△ 3,172,381	△ 4,282,949	1,110,568
2　経常外増減の部			
(1)　経常外収益			
経常外収益　計			0
(2)　経常外費用			
80周年記念事業大学寄付			0
経常外費用　計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,172,381	△ 4,282,949	1,110,568
一般正味財産期首残高	230,984,826	235,267,775	△ 4,282,949
一般正味財産期末残高	227,812,445	230,984,826	△ 3,172,381
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
Ⅲ　正味財産期末残高	227,812,445	230,984,826	△ 3,172,381



若年会員起業家支援継続のためのヒヤリング

友電会を発展させる活動の展開

2025年度の事業計画策定にあたり

一般社団法人 友電会会長　廣　谷　　明

今を見つめ、何をなすか。

理事２１名でスタートした理事会ですが３名が辞任され、１８名で部会運営に取り組んできました。また、監事は1名欠員の状況が続いています。

事業推進のために4つの部会を設置し運営を行ってきましたが、確実に事業をおこなうには大きな負担を抱えることとなりました。

このことから、本年度の事業を進めるために広く社員の方々から「協力員」（スタッフとしての協力）を募り事業を運営します。

今後の一社法人友電会の方向性を示し「ぶれない方針」を築くため、友電会MV2プラン（※１）にまとめます。

方針達成を目標に、「友電会５か年中期計画」を策定し、さらに「３つの重点」の実現をめざします。

※１　MV2（Mission:存在意識。Vision:将来像。Value:価値。）

そのために、6つの具体的努力事項を掲げました。

1. 理事会体制の見直しと中期計画の策定（委員会の立ち上げ）を行う。
2. 改選期に向けて、理事の人数を見直しする。
3. 社員参加型の次期理事会体制を検討する。
4. MV2達成に向けた「友電会５か年中期計画」を策定する。
5. 効率的な理事会等の運営を実施する。
6. 友電会予算は、収支均衡型（緊縮型）とする。

以上のことについて取り組んでいきます。



具体的方針案

- 社会で活躍する卒業生や友電会の事業や各支部で活動するOB･OG諸氏と連携した運営に努めます。
- 大学･学園の発展に寄与するために、一層緊密な相互関係を結び、準会員に対して支援します。
- 学園同窓会の発展のため、高等学校同窓会と友電会の連携強化さらに短期大学部同窓会（校友会）の元会員を包括した連合同窓会組織の検討をおこないます。
- 法人としての使命を自覚し、地域社会に貢献できる事業を創造します。

幅広い年齢層の友電会員が電通大卒のブランドで集まり、明日を語る事業展開します。

めざす友電会の創造

（一社法人）大阪電気通信大学友電会
任期:2024年6月～2026年5月



2024 年度定時社員総会で承認を受け始動した本会は、第4 回理事会（2024 年 7月24日開催）で従来の運営を見直し、一社法人としての目的達成に向けた組織改正をおこないます。特に、
①友電会活動の**民主化と「見える化」**に努め、組織的運営を図ります。
②**部会の連携**を徹底し、組織的な対応を基本とします。
③**会員への情報発信**を重要と考え、会員への迅速な伝達を図ることとします。

2025年度　収支予算

1. 基本方針

今年度は、廣谷 明体制の2年目として「次世代会員の参加促進」と「ICTの活用」を通じ、持続可能な同窓会活動の実現をめざします。そのために、会員相互の親睦を深めつつ母校との絆を強化し、支援・協力体制の充実を図ります。さらに、多くの会員が参加しやすい環境を整え、同窓会活動の活性化を促進します。(2025年度総会基本方針より)

2. 重点事業と予算獲得

(1)各種規則の制定・改正および会員向けサービスの充実
- 顧問弁護士による法律相談

(2)支部の活性化および若年層会員の勧誘
- 全国支部長会を通じた意見交換の実施
- 新支部設置の促進・組織の拡充
- 若年層の会員勧誘の推進
- 準会員向け友電会広報のイベント実施

3. 具体的努力事項

(1)スポーツ大会等イベント推進
(2)大学祭支援/ホームカミングデー協力
(3)給付奨学生支援及び寄付金の拡充
(4)若年会員起業支援事業の拡充
(5)学生の就職活動支援
(6)機関誌・ホームページの充実

(1)収入の部(経常収益)【単位:千円】

科目名	2024年度実績	2025年度予算	2026年4～6月	増減額(予算-実績)	備考
正会員受取会費	28,320	26,900	26,000	-1,420	正会員1,345名(うち大学院新規加入者19名)×2万円
雑収益	115	120	0	5	
寄付金	380	500	0	120	給付奨学金指定の寄付等を見込む
収入合計	28,815	27,520	26,000	-1,295	

(2)支出の部(経常収益)【単位:千円】

科目名	2024年度実績	2025年度予算	2026年4～6月	増減額(予算-実績)	備考
給与手当	5,388	5,000	1,200	-388	前年度予算と同額水準を維持
通勤費	586	550	125	-36	前年度予算と同水準
雑給(学資アルバイト)	156	150	100	-6	
賞与	300	300	0	0	
法定福利費	50	50	0	0	
退職給付引当繰越	0	0	0	0	
福利厚生費	100	100	0	0	
広告宣伝費(HP制作)	258	260	0	2	
交際費	322	500	50	178	祝意項目の新設に伴い増額
会議費	252	120	30	-132	WEB会話活用により実費減
旅費交通費	4,772	2,500	600	-2,272	理事会等でWEB会議を活用することにより削減
通信費	310	310	50	0	
事務用品費(什器備品含む)	566	500	100	-66	
機関紙制作関連費	3,497	3,000	480	-497	秋号の発汗部数見直しによる費用削減
修繕費	0	0	0	0	
支払手数料	415	380	325	-35	
リース償却費	0	0	0	0	
租税公課	29	29	26	0	
支払報酬量	933	1,000	300	67	顧問弁護士変更に伴う報酬額の見直し
若手会員企業支援金	1,000	1,000	0	0	
給付奨学金	2,160	2,160	0	0	
会員助成金	124	125	0	1	
総会費	1,066	1,000	1,100	-66	
支部運営助成費(支部活動費)	3,317	2,500	200	-817	前年度予算と同水準
準会員助成費	2,404	2,600	10	196	卒業パーティなど準会員向け行事の補助
教育研究促進費	333	350	0	17	
クラブ活動助成金	500	500	0	0	
名簿作成費	469	470	0	1	
イベント費等	1,864	1,500	0	-364	大学祭・ホームカミングデー・研究室対抗スポーツ大会などの開催費用
雑費(事業費・予備費)	0	566	0	566	
支出合計	31,171	27,520	4,696	-3,651	

これからの事業

今年度承認された収支予算に基づき執行されるさまざまな事業によって、「次世代会員の参加促進」を図っていきます。

友電会員の皆様の英知を結集し持続可能な同窓会活動の実現をめざします。

皆様のご支援をよろしくお願いします。



準会員助成



大学祭支援 OBによる講演



若年会員起業支援事業
地元小学校設備贈呈 地域貢献



顕著な研究成果に贈る祝意金

理事会だより

期　間：自2024（令和6）年4月20日～
至2025（令和7）年3月8日

2024年6月22日に開催された定時社員総会は、新役員として21名の理事と監事3名を選任し新体制の下、事業を進めてきました。ここでは、代表理事が交代した6月以降の事業について報告します。

1. 2024.6.22　代表理事に廣谷　明（F12期卒　滋賀県）を選出
2. 2024.6.30　新体制（副会長３名，4部会の編成を承認、顧問団設置就任承認５名
3. 2024.7.27　事業計画･予算の確認、法人理事に第1副会長三宅一宏氏を推薦、法人評議員に堀江健二郎理事を選出、蕭　炯森理事の辞任承認、池田　清監事辞任承認、理事の義務項目に関する誓約書の提出、支部規程の見直し着手、e-sportsイベントの実施承認、ホームページ運営会社の変更承認、支部イベント費承認
4. 2024.9.21　なわフェス･ホームカミングデー企画予算の承認、部会事業計画の承認、IT情報管理者の任命、奈良支部イベント費承認、事務職員の時給引上げ承認、関東総支部解散勧告の取り下げ承認
5. 2024.11.3　支部規程の見直しおよび規程改正案および支部助成規程案の暫定的運用の承認、大阪支部、京都支部イベント費の承認
6. 2025.1.11　法人理事候補および法人評議員の選出要綱の承認、選挙管理委員会規程の承認，慶弔規程の承認、災害被災者支援規程の承認
7. 2025.3.8　法人理事候補および法人評議員の選出、一社法人友電会代表理事（会長）廣谷　明会長選出承認、同評議員には中村通氏、阪井悦三氏、藤田英治氏の選出承認 、2025年定時社員総会の実施要綱を承認（日程を除く）、慶弔規程の一部見直し承認と鄭研究室（電子機械工学科）への祝意金承認

慶弔規程

(目的)
第1条 この規程は、一般社団法人大阪電気通信大学友電会の祝意金および弔慰金等について定める。
(祝意金)
第2条 正会員、準会員、特別会員が以下のいずれかに該当する場合に祝意を表し、祝意金を贈る。
(1) 正会員が国や地方公共団体から表彰を受けた場合。
(2) 準会員または特別会員が教育･研究で顕著な成果を挙げ、学会や公的機関などから表彰を受けた場合。
(3) その他、理事会が特に祝意を表する場合があると認めた場合。
2．祝意金の金額については、その都度、理事会において協議し決定する。
3．祝意金の支払いは、該当事象の発生後6か月以内とする。
(弔慰金)
第3条 正会員および特別会員に、弔慰金10,000円を支給する。
2．準会員には、会費相当額の弔慰金を大学を通じて支給する。
3．弔慰金の支払いは、該当事象の発生後3か月以内とする。
(考慮すべき事項)
第４条 その他祝意および弔慰関係で特に考慮すべき事項が発生した場合は、会長および事務局長の判断により処理し、理事会に報告する。
(改定)

災害被災者支援規程を制定しました

【お知らせ】
友電会では、大規模な自然災害により被災された会員の方への支援を目的として、「災害被災者支援規程」を制定しました。罹災証明書の提出をもとに、以下のとおり見舞金を支給いたします。

■見舞金の支給額

被災区分	金額
全　壊	50,000円
半　壊	30,000円
一部損壊	10,000円

対象は、友電会の正会員です。
申請は原則として、被災後1年以内となります。
詳細や申請方法については、友電会事務局までお問い合わせください。

■問い合わせ先
一社法人）友電会事務局
電話　072(824)3111
Mail　info@yudenkai.or.jp

講演「新・デジタルゲーム学科を語る」

「社会課題解決のための ゲームフルデザイン」

2026年始動します、大阪電気通信大学の新たなデジタルゲーム学科について、設立準備委員会のメンバーを代表しまして、「社会課題解決のためのゲームフルデザイン」と題してお話しさせていただきます。

大阪電気通信大学 副学長
総合情報学部 ゲーム＆メディア学科
渡部　隆志　教授



大学の現状・概要

学生数は学部と大学院を合わせて現在5,939名です。

収容定員を上回る学生さんが、寝屋川キャンパスに3,473名、四條畷キャンパスに2,466名が在籍し、教育・研究を展開しているという状況です。

寝屋川キャンパスには工学部、情報通信工学部、建築・デザイン学部の3学部に9つの学科・専攻。四條畷キャンパスには、健康情報学部と総合情報学部の2学部に6つの学科・専攻があります。

2021年には学校法人大阪電気通信大学の創立80周年を迎えました。創立以来人間力・技術力を備えた人材輩出に努めてきました。

明日の大学を語る塩田邦成学長



学科の変遷と新学科の３専攻

2026年度からスタートするゲーム系2学科の再編についてお話しをさせていただきます。

本学で得ることのできるデジタルスキルの中でも、特にユニークなのがゲームづくりをプラットフォームとした教育・研究です。

2003年、日本で初めて「ゲーム」を学科名称に冠する、デジタルゲーム学科を設置しました。学科開設当時はゲームと言えば家庭用ビデオゲーム機という時代でした。

2018年にはゲーム＆メディア学科を設置しました。ゲームを構成するさまざまなデジタルデータは単にゲームの世界にとどまらず、あらゆるメディアでデジタルコンテンツとして活用されます。ゲーム＆メディア学科では、他に先駆けてeスポーツにも着目し、その配信技術やエンターテインメントコンテンツとしての開発に取り組んだことも大きな特徴のひとつと言えます。

そして来年2026年、現在のゲーム系2学科をデジタルゲーム学科1学科に統合し、その中に3つの専攻を置く新たな教育組織に発展させます。現在のデジタルゲーム学科はデジタルゲーム専攻として、ゲームの最先端技術に触れる教育・研究へと

さらに深化・発展させていきます。ゲーム＆メディア学科はゲーム＆メディア専攻に。多様なメディアにおけるデジタルコンテンツ制作に引き続き精力的に取り組んでいきます。キャラクターをはじめとするIP（知的財産）ビジネスやクロスメディア戦略なども重要な視点となるでしょう。

そして今回新設しますのが、ゲーム・社会デザイン専攻です。ゲーム・社会デザイン専攻は、情報系＋文系という学びの系統で、これまでに加えてさらに新たな層の高校生にアプローチしているところです。ゲーム・社会デザイン専攻ではゲームを手段として、さまざまな社会課題の解決を目的に、ゲームを活用する知識や技術の習得を目指します。学びのキーワードとして、3専攻それぞれに独自の切り口を持たせて、学びの基本モデルを構築しています。ゲームづくりを3専攻共通の軸としつつもそれぞれのコンセプトを持ち、学生はその中で自由度の高い学びを実現できるよう教育課程を設計しています。

やりたくなるを生み出すゲームフルデザイン

『「やりたくなる」を生み出す ゲーミフィケーションの進化 ゲームフルデザイン』という本が、翔泳社より今年4月11日に刊行されました。著者の伊藤真人（いとうまなと）氏は、株式会社セガXD 取締役執行役員COO（最高執行責任者）でいらっしゃいます。

ゲーミフィケーションによる社会課題の解決を具体的に見ていきましょう。

ベネッセコーポレーションとの共同開発となる本格リズムゲーム「Risdom（リズダム）」です。英語学習に必要となる反復・継続をゲーミフィケーションでサポートし、英検5～1級レベルの語彙力、文法力が自然と身につく、というものです。また、大阪府泉大津市での共創事例として、脱出ゲームをモチーフにしたエンターテインメント型の防災訓練が実施され、若者が参加したくなる仕掛けを実現されています。このエンタメ型防災訓練は「THE SHELTER（ザ シェルター）」のネーミングで、各地の自治体で取り入れられはじめています。

著者の伊藤さんとは、DIGITAL GAMES DIALOGUEと題して、ゲーム・社会デザイン専攻PVに出演いただいたシン・ジュヒョンさんと3人で鼎談の機会を春に持つことができました。実際にビジネスの最前線でゲームを活用される企業の視点、また新進気鋭のゲーム研究者から見たこれからのゲームなど、新専攻を立ち上げるにあたり、たいへん勇気をいただくことができました。

ゲーム・社会デザイン専攻は、ゲームフルデザインを学ぶ専攻であると言えますし、すでに社会はその方向に向かって進みはじめていると実感した次第です。

デザインとは何か？

ゲーム･社会デザイン専攻の専攻名とゲームフルデザインに共通するデザインというワード。デザインの言葉の意味を少し掘り下げてみましょう。1989年通商産業省「デザインイヤー」趣旨では「デザインとは、人間の創造力、構想力をもって生活、産業、環境に働きかけ、その改善を図る営みと要約できます。つまり、人間の幸せという大きな目的のもとに、創造力、構想力を駆使し、わたしたちの周囲に働きかけ、さまざまな関係を調整する行為の総称をデザインと呼んでいます。」と定義されています。デザインが美術や造形のカテゴリーに属する狭義ではなく、創造力と構想力によっておこなわれるさまざまな調整行為であり、それは何より人の幸せのためにおこなわれるものであると述べられています。

このようにデザインの持つ意味を捉え、ゲーム･社会デザイン専攻では、ゲームづくりに関わる知識や技術を用いて、社会のさまざまな課題に対してわたしたちの創造力と構想力を駆使し、さまざまな要素の調整によって、より良い社会の実現に貢献する人材を養成してまいります。

卒業生の活躍と国際交流

近年の情報系新設ブームの中で、ゲーム開発をテーマに学ぶことのできる大学も増えてきました。ゲームづくりが情報教育のプラットフォームとして広く認知を得たものと言えますし、先陣を切った本学としても大いに歓迎するところです。

多くの本学卒業生の中から、今日はおひとり紹介させていただきます。2月1日 日経新聞夕刊の「ゲームのトビラ」というコラムで「PICO PARK 2」という協力型アクションゲームが紹介されていました。このゲーム、デジタルゲーム学科2期生の卒業生 三宅俊輔（みやけ しゅんすけ）さんが開発したもので、彼は新卒で大手ゲーム会社に就職、その後独立起業して発売したタイトルが「PICO PARK」であり、世界500万を超えるダウンロードを更新し続けています。

また、アメリカ フロリダ大学、オランダ ユトレヒト芸術大学、韓国 慶熙大学校などとの現在の研究交流や留学を発展させ、国際的な素養を持った人材育成も重要です。日本国内だけではなく世界をマーケットとしたコンテンツ開発が求められています。その点からも国際交流の機会を大学の中にさらに取り込んでいく必要があります。そうした企業家との接点や国際交流の拠点として、現在メタバース･キャンパスの構築を進めています。新たな学科をつくるのに合わせて、新たな校舎をインターネット上のサイバー空間に建てようということで準備を進めています。

少子化の中で真に「役立つ」人材を育成

令和6年人口動態統計月報の年計によりますと、2024年の国内の出生数は686,061人とのことです。2024年時点での文科省発表の大学入学定員を合計しますと、625,567人ですので、2024年生まれが18歳になる2043年、そのうちの7割が大学に進学すると仮定するとその数は480,243人。今の入学定員に照らすと48万人は全入で、14万5千人分の枠が埋まらずに新入生を迎えることのできない大学が数多（あまた）という状況が想像されます。もちろん今後の18年で、閉じる大学がどんどん出てくることでしょう。そうした厳しい環境の中で、大阪電気通信大学が社会から必要とされるためには、やはり本学でなければ学べない教育、本学でなければ極められない研究のシステムを確立し、広く知ってもらうことが何より重要だと認識しています。

「80年間、目立つ大学より役立つ大学」これは学校法人80周年に寄せて発信された本学からのメッセージです。「役立つ大学」にはもちろん学生さんの「自分自身」のためでもありますが、それ以上に「社会」のためであるということを拠り所にした、教育機関としての自負が込められています。リニューアルするデジタルゲーム学科においても、これからのバーチャルとリアルが融合する新しい世界で、デジタルスキルを持って、活発な社会･経済活動をおこなえる真に「役立つ」人材を育成していきたいと考えています。



新学科に向ける熱い想いを語る渡部隆志副学長


講演に感謝を伝える花束贈呈

出あい ふれあい









進行役を務めた学生常任自治委員会の
大黒　翼　委員長



当日まで学生を集め、会場設営から
撤収までよく頑張ってくれました

2025年度
懇親会は盛大に
開催されました

語りあい そして



ENJOY









ありがとう!

今年も大勢の学生さんに
協力いただきました



時代が求める大学教育を学生に

大阪電気通信大学　学長　塩田邦成

昨年の出生数が68万6,000人と発表されました。戦後最多は1949年の約270万人でした。急激に進む少子高齢化社会のもとで日本社会を維持していくためには、縮小する労働人口を個々の質を上げることにより補わなければなりません。こうした観点から、大学教育への期待が高まっています。この課題に本学はどのようにアプローチするか、ここ数年間の取り組みをご紹介します。

STEP 01 教育理念の現代的展開－デジタルスキルで人生を切り拓く

本学の教育理念は「実学教育で人間力と技術力を培う」ですが、「実学」「技術力」の具体的な内容は、時代、社会状況によって変化させてきました。

1925年、本学のルーツである大阪無線電話学校が設立された時代背景には、1912年のタイタニック号遭難を契機とした船舶への無線電信設備搭載開始や1925年のNHK仮放送開始があり、無線通信技術者育成が世界的要請となっていたことがありました。1961年の本学の開学は、工業化進展による技術者ニーズの高まりの中でのことでした。その後も本学は1990年代の医工連携ニーズに応えて医療系、21世紀の情報化動向を見据えてデジタルゲーム分野への展開など、「実学」「技術力」を時代に応じてアップデートしてきました。

最近、本学は3年連続して学部・学科の新設・再編を行っています。建築・デザイン学部（2024年）、健康情報学部（2025年）、総合情報学部デジタルゲーム学科（2026年）です。ここに通底するもの、それは今後必要とされる「実学」「技術力」を「デジタルスキル」と定めたことです。昨年から始めたテレビCMのキャッチフレーズは**「デジタルスキルで人生を切り拓く」**としました。VUCAの時代、社会、ビジネスは予測不能ではありますが、情報化のさらなる進展は確実なところでしょう。学生たちには、いかなる変化にも対応できるよう、デジタルスキルを身につけてもらいたいと考えています。



STEP 02 多様な教育充実の取り組み

同時に教育の充実にも取り組んでいます。その一つが授業の充実です。2024年から授業時間、授業期間を変更しました。従来の1コマ90分、15週の授業を、1コマ105分、13週の授業としました。授業時間を長くした理由の一つは、多様な授業形態を導入しやすくすることです。グループワークや教室外での活動の導入など、授業への学生の主体的な参画や教員と学生の双方向性充実などを期待しました。また、長くなった夏・春休みを活用して、海外留学、資格取得、インターンシップ、課外活動など、多様な学修、活動に集中的に取り組めるようにしました。

課外活動はhidden curriculumとも言われ、教育効果は絶大です。クラブ活動はもちろん、自由工房なども含めて幅広く支援する課外活動支援センターを2024年、スタートさせました。自由工房には新しいプロジェクトが生まれ、大阪・関西万博で成果を披露しました。2024年のサイバスロン世界大会での快挙はご存知の通りです。強化指定クラブは従来の硬式野球部、女子バスケットボール部、eSportsプロジェクトに加えてバレーボール部を追加しました。



国際的素養は現代人に不可欠なものになりました。卒業生の多くは企業に就職しますが、業務上、海外の論文・文献を参照したり、海外の技術者と共同したりする機会が増えているはずです。海外出張は当たり前、外国人が同僚となることも普通になりました。在学中から国際的素養を身につけてもらいたく、長期休暇を利用した短期留学プログラムはイギリス、カナダ、オーストラリアで実施しています。また寝屋川、四條畷両キャンパスに留学生との交流拠点となる国際交流センターを整備しました。

さらに今後、特色ある他大学と連携して、本学にはない多様な教育プログラムの提供や他大学学生との共同にも一層取り組んでいくつもりです。

少子化は大学の存廃だけではなく、日本社会の将来をも左右します。そこに大学教育の社会的使命があり、その使命に応える大学だけが存続を許される、そのようにとらえ、今後も教育研究の充実に取り組んでいく所存です。





大学連携でイノベーション

創立100周年を笑顔で！

「魅力ある大学経営」に卒業生の視点で携わります

学校法人大阪電気通信大学は、私立学校法改正による本法人寄附行為の改正等に伴い、新たな理事会体制へ移行しました。また、大石利光理事長を重任しました。（2025年6月7日）

任期は2028年6月開催予定の定時評議員会終結時です。

一社法人）大阪電気通信大学友電会は、法人寄付行為改正に伴う理事候補者に本会会長である廣谷明氏を推薦し、学校法人の指名を受けて大学経営に携わっていきます。

さらに、今回の新理事会に3名の卒業生が加わることになりました。

【理事・監事・評議員の紹介】　**詳しくは「学校法人大阪電気通信大学」**HP検索

理事長　大石 利光　（前大阪電気通信大学 学長）

理事　　塩田 邦成/麻野 克己/兼宗 進/寺西 正光/田尻 実/谷 嘉久/廣谷 明（F12）/
観野 福太郎（E04）/谷原 徹（H18）/山口 重之　【11名】

※なお、法人理事に選ばれた谷原 徹氏は本学電子機械工学科を卒業したOBです。

谷原 徹氏に聞く



テーマ：不確かな次世代に切り込む大学経営の在り方

不確実性が高まる現代社会において、私立大学の経営はおよそ50%が赤字経営に陥り、今や大学は単なる教育機関ではなく、「未来を創る知の拠点」として、社会との共鳴を深めながら進化していくことが期待されています。

大学は「変わらない価値」と「変わり続ける力」の両輪で、

・未来を見据えた柔軟なガバナンス体制
・教える教育から気付きを与える教育、学びの再定義
・地域・社会との共創と、財務の健全性と価値創造
・学生が活き活きと活気溢れ、信頼される大学

を目指さなければなりません。

本学を卒業し情報産業に携わり43年が経った今、大学運営に携わる理事として、大学が持続可能で信頼される存在であり続けるために、これまで培った経験を活かし、柔軟かつ戦略的な経営の推進に尽力してまいります。

教育・研究・社会貢献の三位一体により、地域・産業界・国際社会との連携を深め、学生一人ひとりの可能性を最大限に引き出す環境づくりを目指し、大学関係者と共に知恵を絞り、未来への責任を果たしてまいります。

■プロフィール
ＦＰＴホールディングス株式会社
取締役会長　●住友商事 DX推進アドバイザー　●ＳＣＳＫシニアフェロー

座右の銘
「至誠惻怛（しせいそくだつ）」：まごころと痛み苦しむ心があれば、やさしく接する事ができる
「笑顔は最大の化粧」：どれだけ繕っていても笑っている姿が一番素晴らしい

■経歴
1982年本学電子機械工学科を卒業、日本のIT産業のリーディングカンパニーであった㈱CSKに入社し、キャリアをスタートさせる

卒業生の社会人基礎力について

～企業・団体アンケートおよび卒業生アンケート結果より～

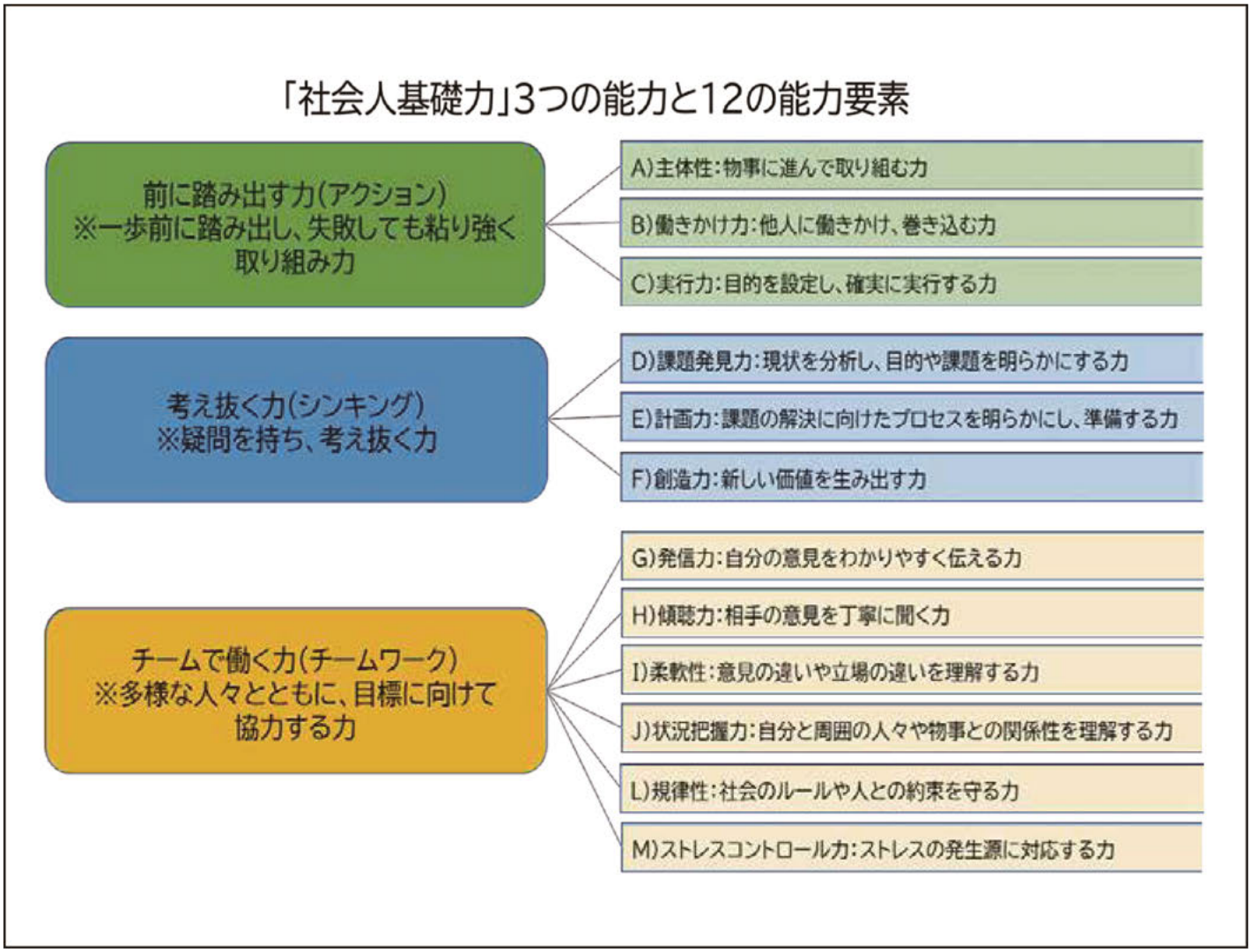
大阪電気通信大学 キャリアセンター

2025.8.6

「社会人基礎力」とは、2006 年、経済産業省が提唱した「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていく上で必要な基礎的な力」であり、「前に踏み出す力 (アクション)」「考え抜く力 (シンキング)」「チームで働く力 (チームワーク)」という 3 つの能力とそれらを構成する 12 の能力要素から成り立っています。

本学では毎年、直近 3 年間の卒業生及びその就職先の企業・団体にアンケート調査を行い、卒業生の社会人基礎力や社会人としての基本的な知識・能力の発揮度合いを夫々の立場で評価いただいています。

本稿では、2024 年度調査 (2022 年～ 2024 年卒対象) 結果をもとに、卒業生の社会人基礎力について述べます。



1．2022年～2024年卒業生の就職先企業・団体への設問

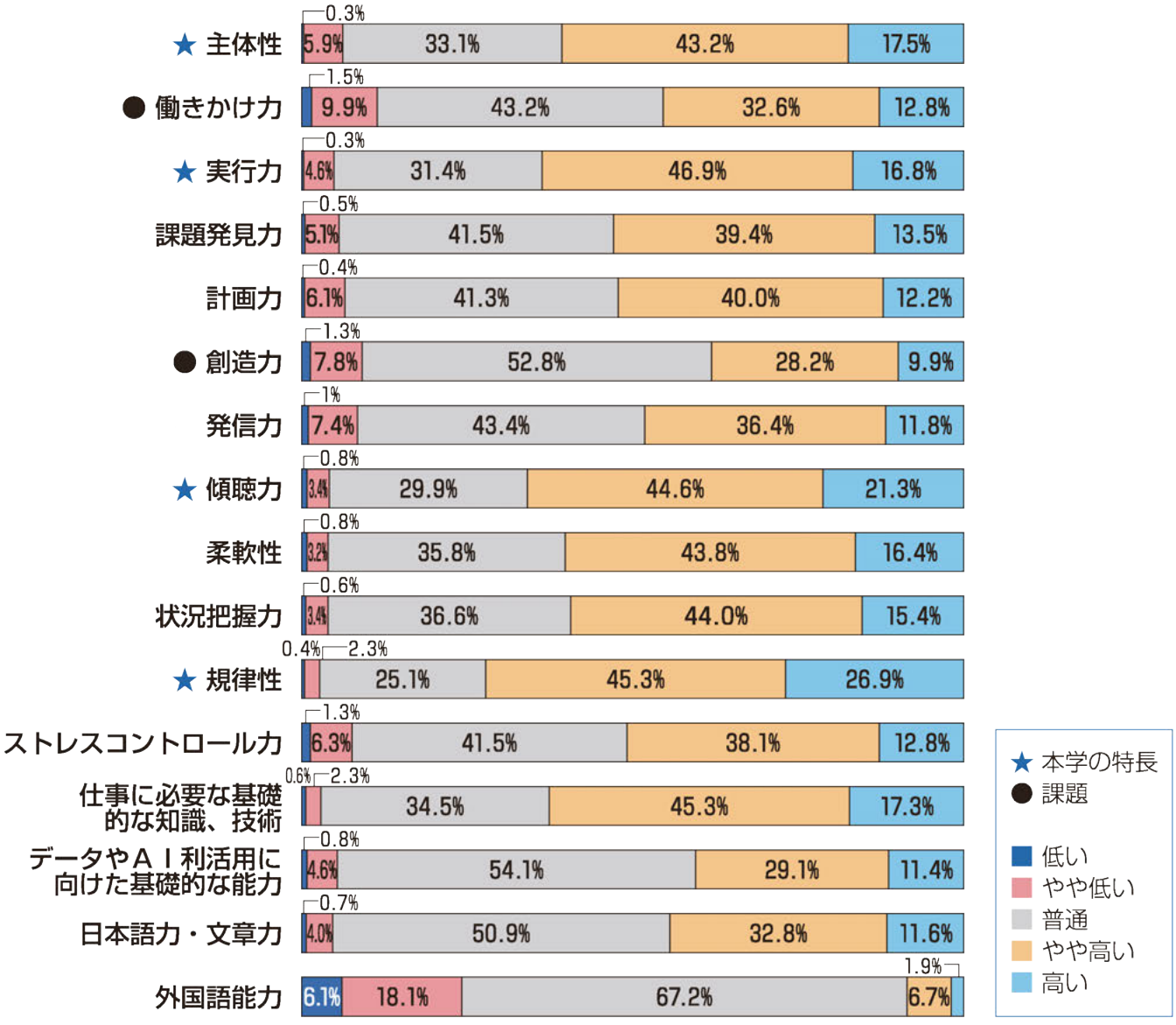
※回答：475社（回答率42.8%）

設問　「本学卒業生の社会人基礎力、基本的な能力等について、貴社・団体が求める同世代の人材像との比較において評価して下さい。」

（高い、やや高い、普通、やや低い、低いの５段階）

＜結果＞　※（　）内は「高い」「やや高い」の合計値

社会人基礎力の各能力要素の中で評価が高い項目は、**「規律性（72.2%）」「傾聴力（65.9%）」「実行力（63.7%）」「主体性（60.7%）」**であり、評価が低い項目は、「創造力（38.1%）」となっている。また、基本的な能力等で評価が高い項目は、**「仕事に必要な基礎的な知識・技術（62.6%）」**であり、「外国語能力（8.6%）」の評価が低い。



友電会から一言

社会人基礎力は、人とのつながりの中で自然に磨かれ、身につける能力だとされてきました。しかし今日の生育環境（少子化・核家族化、地域コミュニティー等）は脆弱化しており、計画的に育成すべき力であると考えます。同窓会（友電会）は、学生の個性を育む場を援助します。

2．2022年～2024年卒業生への設問

※回答：352名（回答率10.9%）

設問「社会人基礎力や基本的な能力等について、現在の自分自身を評価して下さい。」

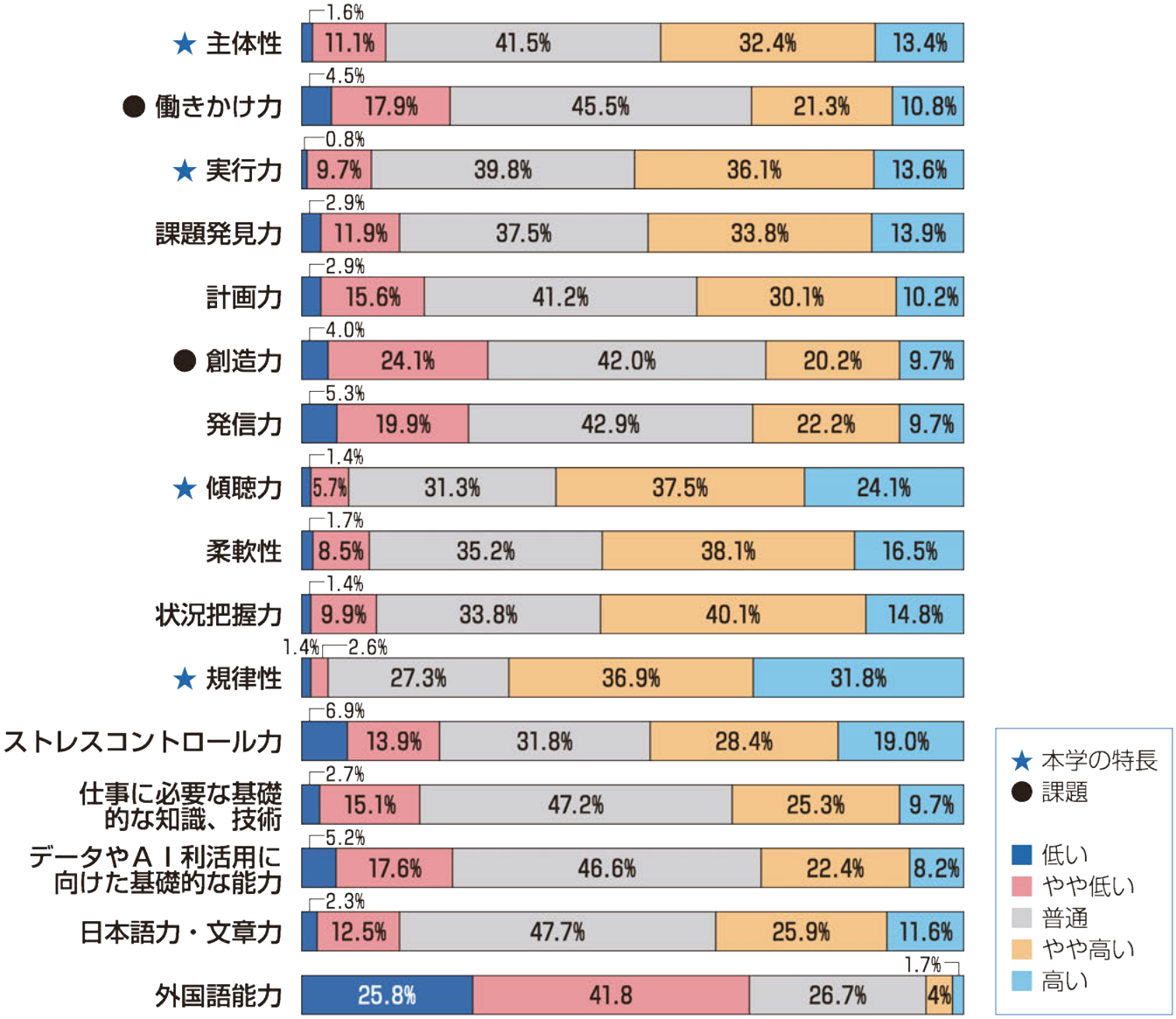
（高い、やや高い、普通、やや低い、低いの５段階）

＜結果＞　※（　）内は「高い」「やや高い」の合計値

社会人基礎力の各能力要素の中で評価が高い項目は、**「規律性（68.7%）」「傾聴力（61.6%）」**であり、これらは企業・団体の評価も高い。

一方、評価が低い項目は、**「創造力（29.9%）」「発信力（31.9%）」「働きかけ力（32.1%）」**であり、これらは企業・団体の評価においても他の能力要素より相対的に評価が低い。

また、基本的な能力等については、**「外国語能力（8.6%）」**の評価が企業・団体と同様に低く、他の項目についても、卒業生の評価の方が企業・団体の評価より全般的に低くなっている。



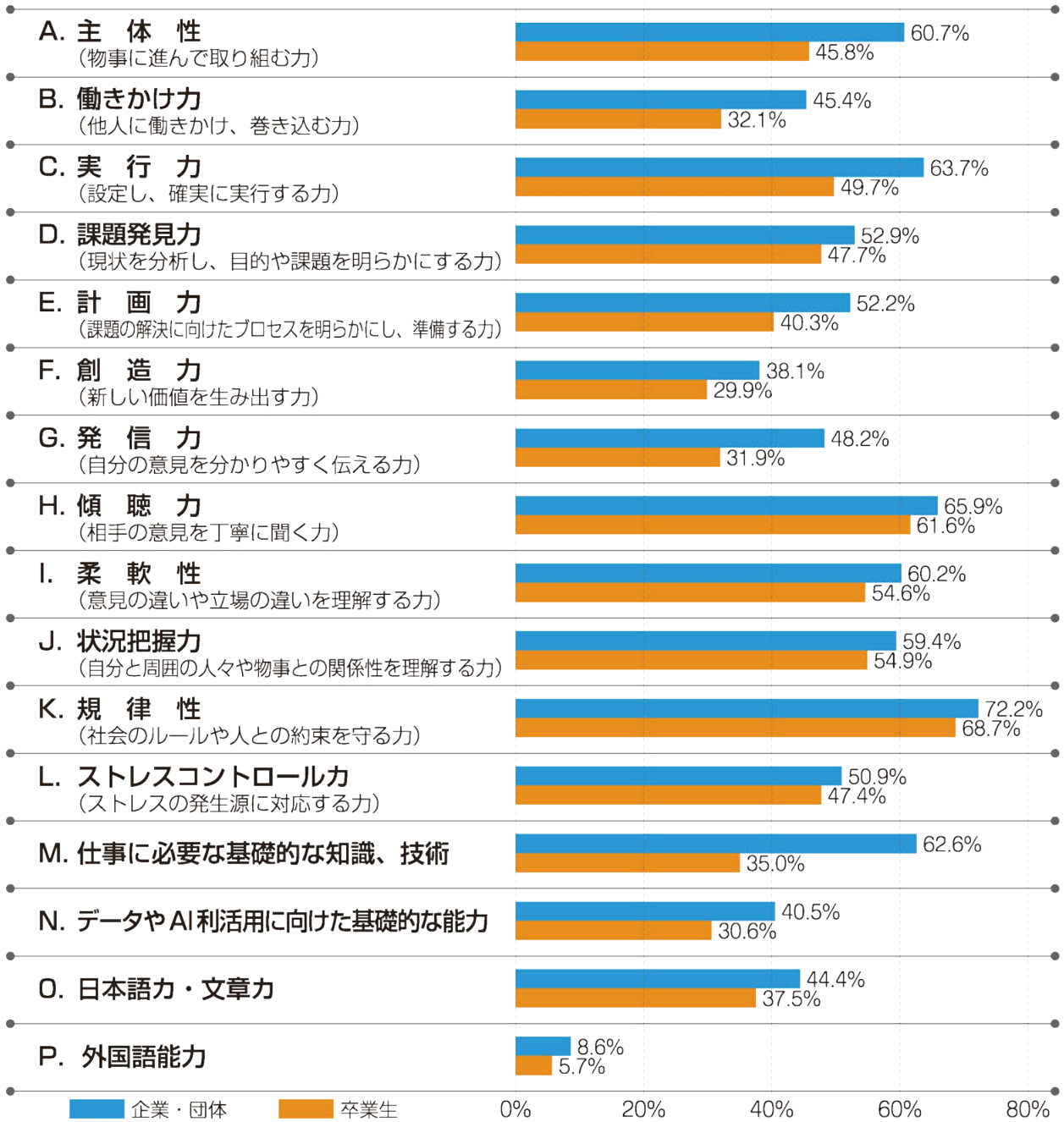
友電会から一言

キャンパスには留学生の姿が目立って多くなりました。在学中から国際的素養を身につけるための環境整備が進んでいます。短期留学プログラムや留学生との交流拠点となる国際交流センターが開設され国際交流事業が盛んになっています。私たち卒業生の立場で学生が育つ環境づくりに一役買いたいですね。

3.企業・団体と卒業生の評価の比較

社会人基礎力の各能力要素や基本的な能力等について「高い」「やや高い」の合計値を企業・団体と卒業生とで比較したものが、次のグラフである。

■双方の評価が高い「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」「規律性」は、社会人基礎力の３つの能力の内、「チームで働く力（チームワーク）」の能力要素であり、本学の卒業生が高く評価されている能力である。
■「考え抜く力（シンクング）」の能力要素については、「課題解決力」「計画力」に比べて双方ともに「創造力」の評価が低い。
アイデアを出し合い、評価し、さらに発展させていくような環境を整える等、創造力を育む機会をつくっていくことが求められる。
■「前に踏み出す力（アクション）」の能力要素である「主体性」「実行力」は、企業・団体の評価に比べて卒業生の評価が低い。「働きかけ力」の評価は双方ともにやや低い。
働きかけることの重要性を理解し、他者を巻き込んで何かを成し遂げる経験をさらに積ませることが必要と思われる。



最後に

企業・団体アンケートでは、「卒業生のどのような点に満足しているか」という自由記述欄を設けており、以下の点を挙げられる企業・団体が多い。

・真面目さ、誠実さ、勤勉さ：仕事に対して真摯に取り組み、コツコツと努力する
・コミュニケーション能力：周囲との協調性が高く、円滑なコミュニケーションがとれる
・主体性、積極性：自ら考え行動し、新しいことに積極的に取り組む
・専門知識、技術力：IT 関連の専門知識や技術力を有している
・学習意欲、成長意欲：新しい知識やスキルを積極的に学び、成長しようとする

また、2025 年 6 月 9 日発行「価値ある大学　新就職力ランキング 2025-2026」（日経 HR）において、本学が上位にランクインした項目は次の通りである。

・行動力：「主体性がある」「やり遂げる力がある」「チャレンジ精神・熱意がある」
・コミュニケーション能力：「対人力がある」「発信力がある」「柔軟性・適応力がある」
・知力・思考力：「論理的思考ができる」「専門的な知識・スキルがある」「課題設定・解決力がある」
・成長力：「自律力がある」「学び続ける力がある」「創造力がある」

両者を見ると表現は異なるものの、本学の新卒採用者の「専門知識とその活用能力」といった点を評価いただいていることが分かる。

「人生100年時代」と言われるように、長寿化に伴い、これまで以上に長く企業や組織、社会と関わって生きていくことになるため、社会の変化に対応し、新しい知識やスキルを習得し続けることが必要なっています。
経済産業省は、2018年、従来の社会人基礎力に「これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力」という観点を取り入れ、「人生100年時代の社会人基礎力」として再定義しました。（以下のリンクを参照）
https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.html
この中では、能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要とされています。

・目的：自己実現や社会貢献に向けて行動する
・学び：学び続けることを学ぶ
・統合：多様な体験・能力・キャリアを組み合わせ、統合する

自らを振り返り、自己の成長や立ち位置を確認していく際にご参照下さい。

2025 年度卒業生アンケートご協力のお願い

・**対 象 者**：**2023年～2025年**の学部卒業生および大学院博士前期課程修了者全員
・**調査方法**：対象者宛て（@oecu.jpのアドレス）に依頼メールを送信
　　メールに記載のURLよりGoogleフォームに回答
・**回答期間**：2025年10月1日（水）～10月22日（水）
・**結果公表**：企業・団体アンケートと合わせて、2025年12月に大学ホームページにて公表

アンケート結果を教育活動の見直しに活用いたします。ご協力のほどよろしくお願い致します。

あとがき

２０２５年春卒業生の就職状況を知るためにキャリアセンター（旧就職部）を尋ねた。日経キャリアマガジンが出版された直後であった。部長から、就職先と連携して本学独自のデータがあることを知らされました。今回、キャリアセンターのご協力により貴重な資料をいただき、めざす大学像を知ることができたように思います。

人生１００年時代と言われる今、同窓生の私たち自身がライフステージにあった社会人基礎力を獲得していかないといけないな!と学ばせてもらいました。　（文　澤居）



オランダからの交換留学生６ケ月研修を終えて
―多いに遊び学んだ日本―

ジェイデンとイファーの日本暮らし

母校は、現役学生に国際教養を身につけ社会で活躍できる人材を育成しようと留学生制度（観野福太郎基金活用）を設けて入ている。2025年夏、本学から12人が4ヵ国に派遣される。一方、寝屋川24名、四條畷38名の計62名（6ヵ国）の留学生が学んでいる。
2025年7月　国際交流センター調査

ヨーロッパの北西部に位置する国、二人が暮らす場所から30分程度走るとポルター（干拓地）の拡がる風景が見られるそうだ。二人は、母校と連携協定を結ぶユトレヒト芸術大学とアムステルダム応用科学大学に通う３年生21才の青年たち。



ジェイデン（左）とイファー（右）

留学先は、いくつかの候補国から選ぶのだが、マンガやゲームが盛んな日本に親しみを感じてやってきた。予想通り、日本は街がきれいで、日本語が上手でない自分にも優しく接してくれる国だった。2025 年 4 月から、研究生としてゼミに入りゲーム学科で学び始めた。

日本は物価が安く生活しやすかった。陸続きのヨーロッパでは、さまざまな国を旅してきたが初めてアジアに来た。食文化にもなじみ日本人の友人がたくさんできてうれしかった。**日本人学生へのメッセージとしてこんなことを語ってくれた。**「日本の学生は、もっと積極的にやりたいことをすればいいのに！」短い間だったけれど彼らを見て感じた。**明日からは、夏休みに入る。これからの予定を聞いた。**帰国予定は 8 月末、この間を家族と一緒に日本観光をして過ごす予定だと嬉しそうに話してくれた。

お土産に持って帰る日本の優れたものは何かな？日本ではやっているゲームソフトを持ち帰って、向こうで待ってくれている友だちと楽しみたい。

国際交流センター提供







生きる力 学びのその先へ 100年時代の社会人基礎力のすゝめ

観野福太郎基金による海外研修報告会を取材して

小・中学校義務教育で身につけた「主体的で対話的な学び」の基礎の上に、社会人になるためにどのように学ぶか（深い学び）が求められる大学生。

そこには自己を見つめ、「じぶんいろに染めあげる」楽しさがある。

2025年6月6日、母校寝屋川キャンパスには、学術的研究発表に出席した学生や語学研修に参加した学生、ワーキングホリデーから帰国した学生ら50名余りが参加した「帰国報告会」が開催された。「何を学び帰国したか」熱い思いをレポートします。

Q. 体験で学んだことは何ですか

◎伝えたいことを自分の力で伝えることの重要さ、間違いを恐れず英語を使う積極性、多様な価値観があること、日本文化と研修国の文化の違いを知った

◎相手の背景や考え方を尊重しながら接することの大切さ、自分から関わる姿勢の大切さ

◎踏み出す勇気、自由とみんなの個性を生かそうとしてくれる国民性、人権や将来のこと

注）画像は、彼らの体験した非日常をpickupした



言語研修や異文化交流を通じて成長した学生たち⬇



帰国報告する学生たち⬇



・ホストファミリーとは初日に壁がありあまり話せずに終わりました。この状態は嫌だなと思い、2日目からは意味が分からなくても、積極的に話していきました。そうするとだんだんと話せるようになり・・・。
　壁があると思っていたのは自分がそう思っていただけだと分かりました。

「主体的で対話的な態度」が成長につながった喜びの談話





▲観野福太郎氏（E４卒）

観野福太郎基金グローバルフロンティア奨励金による海外研修2024は、個人・団体あわせて４９人が参加しました。報告会では、研修国の文化の違いやコミュニケーションの難しさに直面し、障壁を乗り越えながら忘れられない体験になったとまとめてくれました。終了後は、参加した卒業生と共に懇親会を行いました。

若年会員起業支援事業 2年目における進捗状況のご報告

大学発ベンチャー　一級建築士事務所Create For Smile合同会社　北澤誠男

―プロジェクトで人を笑顔にする― というコンセプトを掲げ、2017年の建築学科創設時から、北澤研究室の学生を中心に、「建築サークルCreate For Smile」として、大学近隣の地域連携プロジェクトを進めてきた。さらに求められる社会ニーズに応えていくため、人的・資金的な体制を確立する必要がでてきたため、昨年度から、「一級建築士事務所Create For Smile」がスタートし、これまでのご支援ご助言のお陰で2年目の軌道に乗りそうである。

下表に纏めた様に、サークル活動は学部生を中心に、建築士事務所でしかできない高度なプロジェクトは、切り分けて大学院生を中心にインターンシップと結びつけながら実務を始めたところである。

			一級建築士事務所 CreateForSmile 大学院インターンシップ	建築サークル CreateForSmile 2025年度：約25名	地域プロジェクト活動 学科横断授業 2025年度：約20名
プロジェクト	主な活動内容	開始年度　継続期間	参加人数	参加人数	参加人数（他学科）
香里三井団地活性化 ニコニコのデザインPJ	イベント・WSの企画運営 全体計画企画案 集会所まわり実施設計	2022年度開始（4年目）	2名	8名	8名
寝屋川一番街 活性化 ゴマサロンPJ	空間設計 ごまの内装材 内装施工	2023年度開始（3年目）	3名		
市立中央小学校活性化 Smile小学校PJ	空間コンサルティング オリジナル家具の制作 雑誌掲載コンテスト発表など	2024年度開始（2年目）	1名	5名	4名
能勢町活性化 古民家コンバージョンPJ	持込み提案書の作成	2024年度開始（2年目）	2名	3名	
ZWB（ゼロウォーターピル）設計 なるかわ園地トイレ新築	プロジェクトマネジメント 色決め 詳細デザイン WS 環境測定	2024年度開始（2年目）	3名		
日之出商店街 活性化 持込企画PJ（まねき）	空き家および周辺のリサーチ 持込み提案書の作成 作品の貸応募	2024年度開始（2年目）	2名	5名	
公共建築ボトムアップ計画 望が丘小（隈研吾）見直しPJ	空間コンサルティング PTAや寝屋川市との調整 フリースクール拠点の提案	2024年度開始（2年目）	1名	1名	
震災復興シンボル製作 能登希望のあかりPJ	発注者とのマネジメント 提案書の作成 モニュメントの設計	2024年度開始（2年目）	3名		
for us のデザイン住宅 HouseK PJ	プロジェクトマネジメント 発注者との調整 基本設計実施設計	2025年度開始（1年目）	2名		
駅前大通り活性化 a little bit ディスプレイPJ	エントランス空間の提案 DIY施工 オーナーや予算の調整	2025年度開始（1年目）	3名		7名
関目駅前活性化 倉庫コンバージョンPJ	空き家および周辺のリサーチ 持込み提案書の作成 オーナーとの調整	2025年度開始（1年目）	2名		
広場デザインコンペ 3Dプリントベンチコンペ	学内コンペ 学科内コンペ	2021年度～2024年度 2023年度開始		3名 3名	

北澤研究室ではこれまでに数々の設計コンペ入賞の実績があるが、これまでのアイデアレベルから更に実施設計コンペに挑戦し、入賞後は実務を行うことで設計系大学院生のためのレベルアップに寄与したい。また単位認定インターンシップの受け入れ先のひとつとして、学生の選択肢を拡大する。今後はサークル活動との連携により学部生にも実学の場も提供する。

「一級建築士事務所Create For Smile」としての現在の主な活動概要

• 大阪府なるかわ園地トイレ新築 実施設計（2024年9月）

府民の森・なるかわ園地のトイレ新築設計の最優秀提案事業者に選定2025年8月着工～2026年1月完成予定

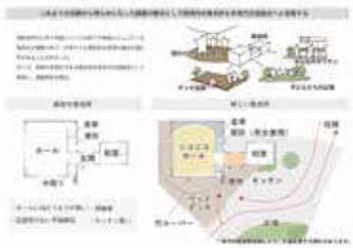
（環境測定協力：添田研究室）





• ニコニコのデザインProject 集会所改修 基本実施設計（2024年10月）

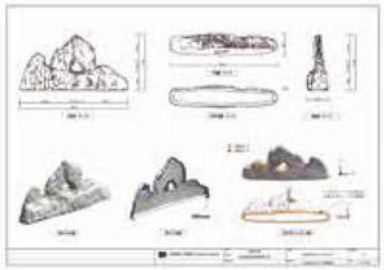
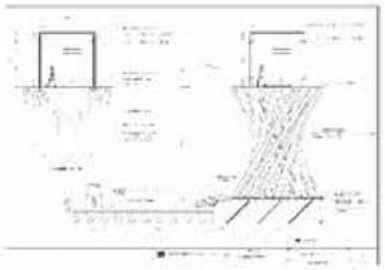
国土交通省『人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業』に選定2026年4月着工～2026年8月完成予定


• 能登希望の灯りProject モニュメント設計（2025年4月）

NHK NEWS WEB希望の灯り 能登にも常設へ 神戸のＮＰＯ 2025年8月着工～2025年9月完成予定

（３Dモデル協力：辻研究室）

「建築サークルCreate For Smile」としての現在の主な活動概要

• 地域プロジェクト活動　日之出商店街活性化プロジェクト





• Smile小学校Project　寝屋川市立中央小学校に廃材を使った椅子を寄贈





活躍する卒業生　VOL.6



夢を形に

株式会社ハーテック　代表取締役　山田　利明　氏

IT 会社「ハーテック」（兵庫県伊丹市）が開発した競泳用タイム計測機器「スイムタッチ」がデフの日本代表選手たちの強化にも一役買っている。

2025 年 5 月 15 日　　讀賣新聞記事より

※「Deaf（デフ）」は英語で「耳が聞こえない」という意味です。

こんなニュースが飛び込んできました。

山田利明氏は、母校―大阪電気通信大学　応用電子工学科を 1979 年に卒業した友電会員です。2005（平成 17）年　株式会社ハーテックの代表取締役に就任された。以降も「夢を形に」をモットーに社長業と研究者をかけもちで働いておられます。

2025 年 7 月、友電会に誕生した 18 番目の支部（特別支部としては 5 番目）産学マッチング支部に所属され、活動の幅を広げられている今を取材しました。

職歴

1975.4 月　大阪電気通信大学　応用電子工学科　入学
1979.3 月　同大学　卒業
1979.4 月　株式会社日本電機研究所　入社
1979.12 月　同研究所　退社
1980.1 月　菱洋電機株式会社 (現菱洋エレクトロニクス株式会社) 入社
1993.3 月　菱洋エレクトロニクス株式会社　退社
1993.4 月　株式会社ハーテック　入社
2005.6 月　株式会社ハーテック　代表取締役　就任



インタビュー

記者：50 年前の学生生活をお話しください。

山田：在学中は、電子技術研究部に在籍してモノづくりに没頭する毎日でした。部長となって心機一転がんばるぞ !! の思いで作った部の決まりは、「合コン禁止」ブーイングを気にせずモノづくりにのめり込んだ時期でした。

記者：就職されてから今日までのエピソードをお話しください。

山田：研究室の先生の紹介で就職しましたが、会社を移り新たな世界を広げていきました。その後は、顧客からの要望を聞き、製品開発をする毎日でした。

13 年過ごした会社を退社して、妻の父が設立した会社「ハーテック」に入社しました。任される仕事も幅広く、CAD が普及し始めた頃に CAD が扱える人材を育成する学校を設立しました。資格を得た学生に働き口を斡旋する人材派遣業を設立し、伊丹市初の免許を取得しました。シャープの電子レンジやコーヒーメーカのソフトを開発、マイコンを組み込んだ電気機器、ホテル客の出入りを数値化する計器など次々に製造してきました。岡山で発生した鳥インフルエンザの流行により鶏卵の市場価格が高騰しました。養鶏農家の依頼を受けて製作した除菌装置は、全国で 7 割のシェアを占めました。

記者：子どもの頃に自作ラジオを作り始めモノづくりの楽しさを知った少年時代。変わらないモノづくりへの情熱をずっと持ち続けておられる技術者だなと感じました。今回、讀賣新聞に取り上げられた新案特許を取得された「スイムタッチ」の誕生秘話をお話しください。

山田：競泳界で使用されるタイマーの絶対的メーカー（S やΩ）の特許権という縛りを潜り抜け、2023 年、「スイムタッチ」は誕生しました。



ある日、会社に地域の競泳関係者が訪ねてきて、「ストップウォッチで測る方法では、どうしても測定者の人的誤差があって選手たちのストレスになっている。日ごろの練習にも使えるタイマーの製造をしてもらえないか。」と依頼を受けました。

先行企業の特許の網をくぐりながら、ようやくたどり着いたのが空気圧を利用するという技術でした。価格も 7 分の 1 程度に抑えられたこと、設置の手間が省け、どこのプールにでも設置できる汎用性が特長です。

もちろん、100 分の 1 秒まで正確に測れる、機器の重さが 9 ㎏と軽量、素人の者が扱える手軽さなど利点が多いと考えています。



記者：文科省が進める GIGA スクール構想による学校の ICT 促進は、部活動でもよい影響が生まれるのではないかと思います。ふと、中学校の短水路プールで部活動に励む子たち。日ごろの練習成果が正確に刻まれるタイマーの普及によって、彼らのやる気が高められ、より速く泳ぎたいと目標達成に努力する姿が見えてきます。主体的な目標設定は彼らの自己肯定感を高めることにつながります。

障害がある競泳者向け開発は、健常者にも幅広く普及する予感がします。

製品開発のために何度もスイミングプールに足を運ばれたと言う。たぶん、一所懸命に泳ぐ彼らを見て来られただろう。だからこそ、「あったらいいな」が現実となり子どもたちに最高のプレゼントを贈ることができたのだと思う。今も、喜んでいる山田少年がそこにいるような気になりました。

（文　澤居）









社屋に展示された開発商品　紹介　カラスをゴミステーションに近寄せない商品　　スーパーマーケットのカゴ除菌装置　ほか

大学関係者からの一言コメント

100 分の 1 秒まで正確に測定できるタイマーによって、ストップウォッチでは見逃すこともある 0.1 ～ 0.2 秒の変化も把握可能となり水泳競技の練習の質を高めます。正確なタイムは選手が成長を数値で実感できる重要な指標であり、モチベーション向上につながります。コーチにとっても、練習や技術指導の成果を客観的に評価でき、選手ごとの課題分析やトレーニング計画に役立ちます。デフ選手にとっては通訳を介さず即時にタイムを確認できることの意義は大きく、このような機器を手に入れやすい価格で開発された本学 OB のご尽力に敬意を表します。

大阪電気通信大学健康情報学部　学部長　太田　暁美 教授　評

山田利明社長の「アイデアを形に」をモットーに生活・商品に役立つものづくりに意欲的に取り組まれている。受注者からの悩み相談から、モノが生まれていく。山田社長の受注者の身になって、アイデアを生み出す過程には、並々ならない努力と意欲が感じられる。現在、社員は１５名。うち、４名の電通大 OB が勤務していたとのことでした。社長や従業員の「ひらめき」を大切にした会社運営の在り方に、山田社長の仕事（生み出そうとする）への情熱を感じました。

まさに「ものづくりは人づくり」であることを、現場を訪れて改めて感動しました。

（文　廣谷）

2025年7月　第18番目の支部の発足

「産学マッチング支部」支部長 大平富義氏に interview!!

インタビュー！ Can I ask some questions?

2025年7月4日、「大阪電気通信大学友電会特別支部産学マッチング支部」が設立総会を開催した。この会の前身は、OECU「経営者の目会」として地道に活動されてきた会が装いを新たに船出した。

本会の会則には、大学と同窓会組織の発展に寄与することを目的に、会員同士の交流と大学に関係する企業と個人のマッチングの役目を負うとしている。

第1回目の総会には13名の会員が参集した。会長（支部長）に就任した大平富義氏（H08期卒）に産学マッチング支部の事業について質問した。



澤居（記者）：本日は、会長（支部長）の就任おめでとうございます。長年、経営者の目会を代表され大学との関わりを続けて来られましたね。この度、支部組織にしようと考えられた理由をお聞かせください。

大平（支部長）：「経営者の目会」は以前友電会にあった企業家同友会の元メンバーが集まりスタートしました。直後に早野学務事務部長や自由工房担当の先生方（入部工学部長、鄭教授、升谷教授）と親しくなり、年数回情報交換会開催する間柄になりました。近年は電通大高校同窓会の役員も参加していただけるようになりました。その中の有志が、自由工房やRP Wheel Project（サイバスロン）の支援をさせていただきました。友電会の支部組織にしようとしたのは、私の事情で消滅した企業家同友会の復活です。名称は変わりましたがやろうとしていることは同じです。今後「経営者の目会」と「産学マッチング支部」も並行して続けます。

澤居（記者）：事業には大学の先生方も参加されるようですが、大学と企業、個人をつなぐ具体的な事業計画をご説明ください。

大平（支部長）：現在会員は16名になり、内訳は4期から56期と幅広く、正会員13名特別会員3名です。この会の特徴である大学との関わりですが大学法人理事・評議委員経験者が12名おります。この方々がいろいろ事案で力を発揮していただけると期待をしております。今後は今までの関係を継続し、大学と企業家とのマッチングのきっかけづくりの一助となるように頑張りたいと思っています。私の夢・目標は野球場で学生、教職員、卒業生が一体となって母校の応援することです。

澤居（記者）：ご多用の中、インタビューにお答えくださりありがとうございました。ますますの発展を祈念しています。

（取材2025年7月19日）



特別支部では、「OB柔会」に続く5番目の支部である。

役員13名の基盤がしっかりした組織のようだ。財務関係をみれば、会費、入会金等を個人から徴収して活動するとある。今後の活躍に期待したい。

一社法人）友電会社員の改選について（お知らせ）

～これからの友電会を創造するしなやかな思考や発想で組織づくり～

在任1年を振り返り、組織的活動に脆弱性を痛感しています。今年度は、一層本部と地域との連携強化に努め情報発信をおこなっていく所存です。

さて、定款10条にありますとおり、今年度は社員及び理事が任期満了を迎えます。

広く会員の皆様の中から社員候補者を募り、これからの友電会や大学を支える人材を育てていきたいと考えます。

この案内をお読みいただいた会員で、「ぜひ協力したい」とお考えになる方はお力をお貸しくださいますようお願いいたします。

（会長　　廣谷　明）

一般社団法人友電会定款より

（社員及び代議員）

第8条　当法人は、おおむね正会員500人の中から1人の割合で選出される代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下[法人法]という。）に定める社員とする。

（社員の選出）

第9条　社員は、当法人の正会員の中から選考し、理事会の承認をもって選出され、会長が社員総会で報告する。社員の選考方法等、必要な事項は別に定める。

（社員の任期）

第10条　社員の任期は、選出後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただ任期満丁後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

1 社員の構成年齢



P33には現在の友電会社員の卒業期別年齢構成と都府県別社員分布を示しました。

P34に見られるように2025年3月には61期卒業生を社会に輩出し、会員数は59,000名となりました。

大学の草創期（1期～5期）に学園生活を送った先輩諸氏は今なおご壮健で、熱っぽく友電会の在り方を語ってくださる。一方、30期前後から以降の年齢層が少数で、これからの友電会を支える人材が不足しています。

中長期計画を支えるこれからの社員像

2

少子化を迎えるただ中にあって淘汰される大学。超スマート社会（Society5.0 ）において情報処理ができる人材を輩出する母校の前途は明るい。しかし、今後も発展を続ける大学を支える応援団として、友電会も次世代を切り拓く社員を広く募集したいと考えます。

是非、卒業して10年のキャリアを積み社会の波に鍛えられたくましくなった“あなた”のしなやかな思考と発想力をお貸しください。友電会の歴史を共に綴っていきましょう。

澤居（記者）

2025年度後半のスケジュール予定および

■9月20日　社員選考委員会および役員候補選考委員会の発足

2026年のスケジュール

■1月10日 社員および役員候補選考結果票の承認
■3月14日 新役員会議の招集
■6月20日 2026年度定時社員総会・役員承認

友電会はあなたの夢を応援しています。
給付奨学金制度を利用して豊かな学校生活を！

膨らむ夢が生みの親

～貪欲な向上心でエンジョイ大学生～

先日、部活に来た学生に寝屋川キャンパスで質問した。

「もし、毎月決まった金額を援助してもらえるとしたら、何に使う？」。

1人の学生が「仲間と焼肉パーティー！？」と答えた。･･･あまり、お金に苦労していないのかな。

もう一人は、「親に借りている学費の返済。親に相談する。」という堅実な回答だった。

もう一つ質問した。海外に行く気はないの？「まとまったお金がないからな」との返事に、学校にある基金を紹介した。「小論文1枚書いて、友電会の給付奨学金に応募しませんか」と最後に勧誘した。

コロナ禍以降、課外活動をする学生数が増えたか学務部に尋ねた。この3年間（2023～2025年）の調査によると新入生の割合が3割から4割になった。学校全体の値も3割超となっている。

大学生活を入学期、中間期、卒業期の3つの時期に区分したとき大学2･3年生の課題は自己省察･自分づくりだろう学生生活を満喫しさまざまなことに挑戦してください。

新・就職力ランキング
【行動力】
近畿私大8位
全国59位
【コミュニケーション能力】
近畿私大6位
全国51位
「日経キャリアマガジン特別編集
価値ある大学　新就職力ランキング
2025-2026」から抜粋

卒業生の活躍度が分かる新･就職力ランキングは、企業の人事担当者が採用した社員の資質や姿勢から出身大学を評価した結果をまとめている。
調査期間：2025年2月28日～4月11日

一社法人友電会が学生さんを援助する制度
給付奨学生　只今選考中

友電会は、学生の皆さんの主体的活動やチャレンジ精神を応援しています。課外活動による他者とのつながりは、自身の対人能力に加え集団における柔軟さや適応力を伸ばす場となります。

学生の皆さんの就職力につながる人間力を応援しようと2019年度から給付奨学金制度を実施、30余名の皆さんを援助してきました。

今年の応募総数は15名でした。7月末日に〆切審査をおこない、9月中旬には結果をメールにてお知らせします。給付者は5～6名です。

課外活動は、学内の委員会や公認団体に限定していません。ぜひ、来年こそ、応募してください。お待ちしています。

友電会員の皆様へ

学生を応援する奨学金募金をしています。支部総会の機会に募金箱を設置していただいています。個人でしていただく場合は、銀行振り込みもございます。ご検討をお願い致します。



募金についてのお願い

「友電会給付奨学金」給付人数増員の為の寄付金募集につきまして
母校大阪電気通信大学の学生（準会員）支援（寄附）のお願い

一般社団法人大阪電気通信大学友電会では、母校の学生（準会員）の経済的な支援を目的として、2019年度に給付奨学金制度をスタートさせ、学業および課外活動の両立を目指す学生に対し、年間36万円の奨学金を毎年5名に給付しています。

これまでに延べ20名の学生が本奨学生として支援を受け、その中には友電会総会のサポート、新支部の設立など、本会活動に積極的に参加してくれている例もあり、この制度が若年会員の当会への参画を促進することに貢献しているなどの喜ばしい成果もあります。
しかしながら、毎年の応募人数は約20名（コロナ禍を除く）、多い場合には30名以上にも上り、現状では希望者に十分な支援が行き届いているとは言い難い状況です。
社員の皆様からの給付人数の増員など、その規模の拡大を求める意見がありますが、予算の問題などから実現には至っておりません。

本会では以上のような現状を踏まえ、この奨学金制度をさらに充実させるため、広く友電会会員からの寄付を募り、その寄付金額に応じて給付人数を増員することにしました。つきましては、下記の通り、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

1．寄付金の目的：友電会給付奨学金事業の拡充

2．金　　額　：一口1,000円（２口以上でお願いします。）

3．寄付の方法　：当会が指定する下記の金融機関口座へお振込みください。

枚方信用金庫　寝屋川支店（店番002）　普通預金
口座番号0486181
一般社団法人　大阪電気通信大学友電会　代表理事　廣谷明
ｲｯｼｬ)ｵｵｻｶﾃﾞﾝｷﾂｳｼﾝﾀﾞｲｶﾞｸﾕｳﾃﾞﾝｶｲ

（振込手数料は寄付者様のご負担でお願い致します）

2025年度総会で頂戴しました募金額は、６月末で35,000円となりました。

4．寄付者の公表：公表の了解が得られた場合に限り、友電会ホームページで寄付者の氏名を、寄付金総額とともに公表します。



頼られるパートナーとして

顧問弁護士に就任された　窪田誠也先生

大阪電気通信大学友電会が長きにわたって法律相談をお願いしていました腰岡實先生がご引退され、後任として迎えることになりました。当会の心強いパートナーとして、皆様のご心配ごとも対応いただけます先生をご紹介します。



初秋を迎え、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
この度、一般社団法人大阪電気通信大学友電会の顧問弁護士を務めさせていただくことになりました、弁護士窪田誠也（くぼたせいや）と申します。
貴法人の顧問弁護士として、法務面からサポートさせていただきます。まずは書面にてご挨拶申し上げます。

1　法律がつなぐ異業種ネットワーク

私が法律についてはじめに興味をもったのは、事件や裁判のニュースを見たことがきっかけでした。その後、中学校、高校の公民の授業で法律の面白さを感じ、法学部に進学しました。神戸大学法学部では、司法試験の試験委員もつとめる教授の授業を受け、また、周囲でも法律家を目指す友人が多く、所属していたゼミの友人の半数は裁判官、弁護士となっています。ゼミの友人とはいまも仲が良く、年1回の旅行を続けています。

また、今回顧問弁護士に推薦いただいた井上真太郎司法書士も大学からの友人です。ゼミとは別の集まりですが、こちらも、井上司法書士をはじめ、公認会計士、税理士、社会保険労務士、上場企業の役員を務める方など、心強い友人たちです。

弁護士になってからも、異業種交流会や依頼者、依頼解決を通じて知り合った医師、建築士、宅地建物取引士、弁理士、社会保険労務士、不動産鑑定士、行政書士、会社経営者や官公庁に勤める友人、市会議員などと交流しております。

2　法律事案は多種多様にあり

司法修習を終え、野村総合法律事務所に就職しました。弊事務所は、歴史ある事務所で、依頼者や取り扱う案件も幅広く、私も多くの経験をさせていただきました。

取り扱う案件は、企業からの依頼が多く、取引先とのトラブルや、売掛金の回収案件、労使問題などを取り扱って参りました。新規事業の際のリーガルチェックや、契約書のチェック、交渉内容のアドバイスなど、予防法務にも力を入れております。顧問弁護士として、いつでも気軽にご相談を頂いている企業、社長様も多くおられます。最近、信用金庫の非常勤理事、建設会社の社外取締役にも就任したこともあり、経営者の



悩みや考え方にも、より寄り添えるようになったのではないかと感じているところです。

また、企業だけでなく、個人の方からのご依頼も多く頂いております。交通事故、労災事故などの損害賠償請求、建築トラブルや相隣関係などの不動産に関する問題、離婚問題や親子関係などの親族関係の問題、遺言や遺産相続に関するご相談、借金のお悩みなども多く解決して参りました。法律に興味を持つきっかけとなった刑事事件にも積極的に取り組んでおります。様々な立場の方からのご相談、ご依頼を頂き、多くの経験をしてきたことで、一方的ではない、より広い視点での考え方、アドバイスができるものと感じています。また、先ほどご紹介した多くの専門家とも連携を取り、紛争解決に必要な視点、アドバイスを頂きながら、事件解決に取り組んでおります。必要に応じて、より適切な専門家をご紹介することも可能です。

3　継続した頼れるパートナーとして

弁護士は、どうしても敷居が高いように感じてしまうかもしれません。また、費用が高いかもしれないと躊躇してしまうかもしれません。しかし、どうも体調がわるいなと感じたときに病院に行くように、健康診断を受けるように、早期に弁護士に相談に行くことが、大きなトラブルを防止し、よりよい解決に繋がることになります。結果的に、費用も抑えられることになると思います。

実際にトラブルの渦中におられる方はもちろん、もしかすると一度弁護士に相談した方がいいのかもしれないときに、早期に相談することが重要です。友電会に顧問弁護士がいたな、友電会の顧問弁護士に相談してみようと覚えて頂けると大変うれしく思います。継続的に相談できる相手として顧問弁護士のご用命や、また、ご自身だけではなく、周りでお困りごとを抱えるご友人にも、母校の同窓会の顧問弁護士が相談に乗ってもらえると思うよと、ご案内ください。

貴法人の、貴法人の会員の皆様の、そのご友人たちの「頼れるパートナー」として、皆様の傍らに寄り添いたいと願っております。

皆様がこれからも力強く発展していくための一助となれますよう、全力でサポートさせていただきます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

２０２５年年９月吉日

野村総合法律事務所　　弁護士　窪田　誠也

【略歴】

１９７９年　６月	愛媛県で出生
１９９８年　４月	大阪府立茨木高等学校　卒業（高５０期）
２００５年　３月	神戸大学法学部　卒業
２００６年１１月	司法試験合格
２００７年　４月	最高裁判所司法研修所入所
２００８年　９月	同研修所修了（旧６１期）、大阪弁護士会登録

野村総合法律事務所入所

会員からのメール便 北から南から

2025年6月に開催の定時社員総会には、北は岩手県宮古市、南は長崎県佐世保市よりご出席いただきました。当日発言が叶わなかった方の中から、今後のご助言を掲載いたします。

友電会が開設するホームページには住所変更欄が設けられています。その通信欄からも紹介します。ぜひ、皆様からも近況をお知らせください。

友電会
ホームページへの
アクセスはこちらから

300坪のうちを借り、小型耕運機を中古で購入して野菜作りを楽しんでいます。
アマチュア無線はFT8で全国QSOしています。
ミニ4クラブでOS生T-5 を走らせています。

12期卒　茨城県　塩田

82才の絵画教室、庭園整備に励んでいます。
この夏は鹿児島までの3,000㌔のバイクの旅を計画中。

1期卒　神奈川県　羽渕

社員へのメールマガジン等見える化を進めている様子が分かります。引き続き頑張ってください。
総会内容は相変わらず遅滞する。今後は案内時に意見質問等を事前に提出させてはいかがでしょう。

7期卒　新潟地区　廣瀬

私立大学寄附行為改正に伴い新しい法人評議員に選出されました。
いつも感じるのですが、もう少し論理的な協議を心がけたいものです。

8期卒　京都市　中村

定年を過ぎたが、引き続き社長として働いています。
20年ぶりに社員総会に出席しましたが、会議がなかなか進まない効率の悪い会議で以前と変わっていないと感じた。
事前に質問などを受けて整理してスムーズな進行を!

19期　新潟　梅田

審議事項「6号議案」がオカシイ。
緊急動議を審議する話が・・・気づいたら候補者の選任の挙手になっていた。

36期卒　東海　古本

総会の議事進行上やむを得ないとは思いますが討議内容が細かすぎると思います。プロ集団ではないので不手際等いろいろ問題もあるでしょうがもっと、今後の大学の成長に関する根本的な議題について意見を述べられるようにされると良いと思います。

5期卒　千葉県　榊原

友電会会員の高齢化を実感しています。これからも元気に参加してほしいと念じています。
若い方の参加に期待!!

2期卒　埼玉　猿渡

総会に出席し考えたことをまとめました。
(1)配布資料に関する配慮の件(見やすい文書)
(2)受付のIT化
(3)発言者の礼儀と審議ルールの徹底
(4)質問に対する端的な回答
※スムーズに会議を推進するための工夫提案

40期卒　奈良県　三上

大学に近い中学校で不登校生徒の指導にあたっています。教育現場はずいぶん変わってきました。
自身が変わらないとうまくいきません。現代学生の意識を理解する機会があれば嬉しい。

9期卒　大阪府　大音

卒業より五十五年が過ぎ、最近は体力の低下も感じるようになり、元気なうちに母校を訪れ、貴学が歩まれた発展の様子を拝見し、当時の記憶と今を重ねることで、深い感慨を得られるのではとの思いが日々強まっております。
つきましては、私を含め5名程度でキャンパスの見学を希望しております。日時につきましては、11月初旬を希望していますが貴学のご都合に従い調整いたしたく存じますので、ご教示いただければ幸いに存じます。

6期　埼玉　阿曽

一般社団法人大阪電気通信大学友電会　社員名簿

任期：～2026年6月定時社員総会

卒業期						
1	大角武紘	(大阪)	羽渕完俊	(神奈川)		
2	池本善一	(兵庫)	福田武	(長崎)	猿渡洋	(埼玉)
3	菅野和夫 廣沢洋	(岩手) (滋賀)	三橋長夫	(滋賀)	佐藤功	(長野)
4	中西義一 観野福太郎	(滋賀) (東京)	大下眞二郎 鈴木顕広	(長野) (東京)	辻勝久	(三重)
5	岩本吉男 池田清 榊原和弘	(東京) (京都) (千葉)	山本弘 吉川博史	(大阪) (愛知)	堀内定夫 香西順治	(奈良) (大阪)
6	兵藤敏夫 森川佳宥 小松周治	(京都) (京都) (福岡)	中山修 北川昇	(大阪) (大阪)	大下正二郎 藤本明	(大阪) (兵庫)
7	田谷利明 平岡臨	(神奈川) (大阪)	野田鐘一	(大阪)	廣瀬一夫	(新潟)
8	水谷元也 宇野茂嗣 中村通	(大阪) (滋賀) (京都)	幸田秀雄 船越亨 大平富義	(大阪) (大阪) (大阪)	鎌谷英一 芳山和久 小倉澄夫	(大阪) (香川) (福岡)
9	大音情司 安部喜美雄	(大阪) (福岡)	深野隆司	(埼玉)	森和明	(兵庫)
10	北地憲治	(東京)	山崎貞彦	(大阪)		
11	松田啓	(石川)	岡本清孝	(大阪)	新義孝	(東京)
12	廣谷明	(滋賀)	小林守正	(兵庫)	塩田善裕	(茨城)
13	辻佳彦 福田真規夫	(奈良) (大阪)	松井俊樹	(奈良)	田嶋正彦	(福岡)
14	山崎敏之 生田謙二	(奈良) (千葉)	堀江健二郎	(滋賀)	園田明雄	(大阪)
15	藤井耕一 沖洋一	(大阪) (東京)	宮條研次	(愛知)	神山清明	(千葉)
16	幸村常一 阪井悦三	(兵庫) (東京)	管勝彦 杉本敢	(大阪) (大阪)	三宅一宏	(京都)
17						
18	小山哲央	(新潟)				
19	竹田治英	(三重)	梅田弘	(新潟)		
20	福井亨	(東京)				
21	杉田吉広 福岡正信	(神奈川) (大阪)	坂本充	(千葉)	坂手宏行	(埼玉)
22	藤田英治	(愛知)	岩野敬一	(熊本)		
23	竹内和生	(埼玉)	二石紀人	(福岡)		
24	澤井剣	(兵庫)	森脇憲治	(東京)		
25	石橋明美	(東京)				
26	西尾博道	(大阪)				
27						
28	早野秀樹	(大阪)	清水良	(福岡)		
29						
30						
31	新川拓也	(大阪)	芥川善行	(東京)		
32	中田亮生	(大阪)	植野雅之	(大阪)		
33	柴垣佳明	(大阪)	長谷川慎二	(大阪)	中井匡斉	(沖縄)
34						
35						
36	金野洋明	(大阪)	古本賢二	(静岡)		
37	上川直紀	(大阪)	岩村真吾	(大阪)	勝間智康	(大阪)
38	阿南景子	(大阪)				
39						
40	三上哲夫	(奈良)				
41	西川達也	(大阪)	越野八重美	(大阪)		
42	山下光美	(兵庫)				
43						
44	岡崎浩也	(奈良)	河合俊明	(兵庫)		
45						
46						
47						
48						
49						
50						
51						
52						
53						
54	朝日麻衣	(大阪)	住田直幸	(大阪)	神宇知一樹	(大阪)
55	持木由香	(大阪)				
56	大神爽平	(大阪)				
57						
58						
59						
60						
61						

当法人に関わる規程は定款の第2章に規定している。第8条【社員及び代議員】及び第10条【社員の任期】に規定されている。現在の112名の社員(代議員)の任期は2026年度開催の定時社員総会までとする。上記の表は、社員の卒期分布を表している。今後、友電会の事業を推進する上で年齢バランスの均衡化は喫緊の課題と考えられる。

一般社団法人大阪電気通信大学友電会　都道府県別　社員一覧

都道府県	
北海道	
岩　手	菅野和夫(4)
東　京	観野福太郎(4)　鈴木顕広(4)　岩本吉男(5)　北地憲治(10)　新　義孝(11)　沖　洋一(15)　福井　亨(20)　森脇憲治(24)　石橋明美(25)　芥川善行(31)
茨　城	塩田善裕(12)
神奈川	羽渕完俊(1)　田谷利明(7)　杉田吉広(21)
千　葉	榊原和弘(5)　生田謙治(14)　神山清明(15)　坂本　充(21)
群　馬	
埼　玉	猿渡　洋(2)　深野隆司(9)　坂手宏行(21)　竹内和生(23)
新　潟	廣瀬一夫(7)　小山哲央(18)　梅田　弘(19)
長　野	佐藤　功(3)　大下眞二郎(4)
石　川	松田　啓(11)
静　岡	古本賢二(36)
愛　知	宮條研次(15)　藤田英治(22)　吉川博史(5)
三　重	辻　勝久(4)　竹田治英(19)
滋　賀	三橋長夫(3)　廣沢　洋(3)　中西義一(4)　宇野茂嗣(8)　廣谷　明(12)　堀江健二郎(14)
京　都	池田　清(5)　兵藤敏夫(6)　森川佳宥(6)　中村　通(8)　三宅一宏(16)
兵　庫	池本善一(2)　藤本　明(6)　森　和明(9)　小林守正(12)　幸村常一(16)　澤井　剣(24)　河合俊明(44)
大　阪	大角武紘(1)　山本弘(5)　香西順治(5)　中山修(6)　大下正二郎(6)　北川　昇(6)　野田鐘一(7)　平岡　臨(7)　水谷元也(8)　幸田秀雄(8)　鎌谷英一(8)　船越　亨(8)　大平富義(8)　大音博司(9)　山崎貞彦(10)　岡本清孝(11)　福田真規夫(13)　園田明雄(14)　藤井耕一(15)　菅　勝彦(16)　阪井悦三(16)　杉本　敢(16)　福岡正信(21)　西尾博道(26)　早野秀樹(28)　新川拓也(31)　中田亮生(32)　植野雅之(32)　柴垣佳明(33)　長谷川慎二(33)　金野洋明(36)　上川直紀(39)　岩村真吾(37)　勝間智康(37)　阿南景子(38)　西川達也(41)　越野八重美(41)　山下光美(42)　朝日麻衣(54)　住田直幸(54)　神宇知一樹(54)　持木由香(55)　大神爽平(56)
奈　良	堀内定夫(5)　辻　佳彦(13)　松井俊樹(13)　山崎敏之(14)　三上哲夫(40)　岡崎浩也(44)
香　川	芳山和久(8)
愛　媛	
徳　島	
福　岡	小松周治(6)　小倉澄男(8)　安部喜美雄(9)　田嶋正彦(13)　二石紀人(23)　清水　良(28)
長　崎	福田　武(2)
熊　本	岩野敬一(22)
沖　縄	中井匡斉(33)
その他	

友電会定款より抜粋

【社員及び代議員】
第８条　当法人は、おおむね正会員の500人の中から1人の割合で選出される代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）に定める社員とする。

【社員の選出】
第９条　社員は、当法人の正会員から選考し、理事会の承認をもって、会長が社員総会で報告する。
２　社員の選考方法等、必要な事項は別に定める。

累計数と学科・学部の変遷

会員の動向

2025年4月7日

期／学科		E	G	H	I&C	J	N	Z	U	P	F	K	RV	A	L	Y	S	Q&B	W	T	DM	計
1 (S.40)	1965	93	–	–	–	–	–	–	–	–	31	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	124
2 (S.41)	1966	193	–	–	–	–	–	–	–	–	88	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	281
3 (S.42)	1967	221	–	–	–	–	–	–	–	–	125	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	346
4 (S.43)	1968	125	–	–	–	–	–	–	–	–	138	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	263
5 (S.44)	1969	84	49	49	53	–	–	–	–	–	115	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	350
6 (S.45)	1970	138	92	138	71	–	–	–	–	–	161	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	600
7 (S.46)	1971	190	85	136	89	–	–	–	–	–	180	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	680
8 (S.47)	1972	175	101	211	108	–	–	–	–	–	183	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	778
9 (S.48)	1973	216	190	210	196	–	–	–	–	–	219	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1031
10 (S.49)	1974	161	188	181	151	–	–	–	–	–	194	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	875
11 (S.50)	1975	178	178	165	194	–	–	–	–	–	196	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	911
12 (S.51)	1976	172	141	167	180	–	–	–	–	–	189	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	849
13 (S.52)	1977	200	187	209	164	–	–	–	–	–	210	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	970
14 (S.53)	1978	162	161	163	162	–	–	–	–	–	148	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	796
15 (S.54)	1979	160	159	186	201	121	–	–	–	–	170	123	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1120
16 (S.55)	1980	144	132	141	164	140	–	–	–	–	141	143	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1005
17 (S.56)	1981	123	133	144	161	128	–	–	–	–	118	141	–	–	–	–	–	–	–	–	–	948
18 (S.57)	1982	132	128	139	130	127	–	–	–	–	159	140	–	–	–	–	–	–	–	–	–	955
19 (S.58)	1983	124	130	113	121	110	–	–	–	–	150	134	–	–	–	–	–	–	–	–	–	882
20 (S.59)	1984	110	97	120	118	139	–	–	–	–	123	115	–	–	–	–	–	–	–	–	–	822
21 (S.60)	1985	120	151	130	123	118	–	–	–	–	131	132	–	–	–	–	–	–	–	–	–	905
22 (S.61)	1986	142	134	131	147	130	–	–	–	–	129	122	–	–	–	–	–	–	–	–	–	935
23 (S.62)	1987	124	133	149	127	130	–	–	–	–	162	141	–	–	–	–	–	–	–	–	–	966
24 (S.63)	1988	96	142	121	116	146	–	–	–	–	136	133	–	–	–	–	–	–	–	–	–	890
25 (H.元)	1989	136	113	126	150	135	–	–	–	–	124	130	–	–	–	–	–	–	–	–	–	914
26 (H. 2)	1990	124	107	124	108	113	–	–	–	–	110	110	–	–	–	–	–	–	–	–	–	796
27 (H. 3)	1991	102	140	116	138	130	–	–	–	–	128	116	–	–	–	–	–	–	–	–	–	870
28 (H. 4)	1992	99	139	150	144	144	–	–	–	–	152	143	–	–	–	–	–	–	–	–	5	976
29 (H. 5)	1993	136	133	109	131	126	–	–	–	–	128	138	–	–	–	–	–	–	–	–	30	931
30 (H. 6)	1994	125	134	117	143	146	–	–	–	–	133	132	–	–	–	–	–	–	–	–	42	972
31 (H. 7)	1995	145	160	139	149	131	–	–	–	–	148	151	–	–	–	–	–	–	–	–	63	1086
32 (H. 8)	1996	162	148	157	156	154	–	–	–	–	139	139	–	–	–	–	–	–	–	–	69	1124
33 (H. 9)	1997	137	136	148	157	153	–	–	–	–	161	150	–	–	–	–	–	–	–	–	76	1118
34 (H.10)	1998	106	149	122	151	132	–	–	–	–	126	137	–	–	–	–	–	–	–	–	67	990
35 (H.11)	1999	129	120	120	9	132	–	–	–	192	127	132	–	–	–	–	–	–	–	–	60	1021
36 (H.12)	2000	125	125	117	–	140	–	–	–	176	132	119	–	–	–	–	–	–	–	–	50	984
37 (H.13)	2001	94	140	121	–	123	–	–	–	215	138	136	–	–	–	–	–	–	–	–	80	1047
38 (H.14)	2002	137	119	116	–	131	–	–	–	228	122	131	68	–	–	–	–	–	–	–	95	1147
39 (H.15)	2003	99	121	99	–	132	–	–	–	199	138	110	113	–	–	–	–	–	–	–	95	1106
40 (H.16)	2004	95	105	109	–	116	–	–	–	209	111	117	101	–	–	–	–	189	–	–	95	1247
41 (H.17)	2005	117	80	120	–	91	–	–	–	183	116	74	84	–	95	–	–	172	–	–	97	1229
42 (H.18)	2006	119	81	115	–	99	–	–	–	201	114	81	113	–	100	–	–	178	–	–	109	1310
43 (H.19)	2007	100	82	104	–	103	–	–	–	188	119	75	96	–	95	–	–	160	123	–	119	1364
44 (H.20)	2008	107	75	86	–	109	–	–	–	168	93	81	119	–	100	–	–	136	106	–	100	1280
45 (H.21)	2009	97	75	101	–	97	–	–	–	167	99	86	75	–	149	–	–	143	133	80	103	1405
46 (H.22)	2010	80	74	100	–	90	–	65	–	169	69	57	2	–	120	33	–	124	127	60	101	1271
47 (H.23)	2011	82	44	87	–	89	20	42	–	146	66	29	1	–	118	45	–	91	130	80	132	1202
48 (H.24)	2012	69	46	92	–	97	27	39	–	119	58	7	–	–	88	23	64	94	124	64	138	1149
49 (H.25)	2013	69	45	68	–	76	30	50	–	121	73	1	–	23	87	30	68	110	122	65	100	1138
50 (H.26)	2014	75	64	57	–	83	43	63	–	136	72	–	–	30	62	28	64	90	116	83	108	1174
51 (H.27)	2015	83	2	68	–	66	52	10	70	104	78	–	–	53	74	26	60	92	98	82	74	1092
52 (H.28)	2016	65	1	71	–	68	54	3	76	112	54	–	–	39	71	22	60	84	100	79	67	1026
53 (H.29)	2017	73	2	60	–	75	60	1	88	109	63	–	–	50	81	33	68	79	113	84	69	1108
54(H.30)	2018	86	–	82	–	83	52	–	99	119	74	–	–	72	78	42	54	93	119	81	59	1193
55(R.1)	2019	72	–	88	–	82	60	–	105	134	68	–	–	62	72	32	55	9	184	72	45	1140
56(R.2)	2020	73		68		79	38		61	109	64	–	–	21	79	27	67	–	170	74	74	1004
57(R.3)	2021	67	–	75	–	78	59	–	78	121	75	–	–	54	70	43	60	2	187	89	74	1132
58(R.4)	2022	73	–	70		79	38	–	62	110	64	–	–	21	80	27	67	–	175	80	65	1011
59(R.5)	2023	64	–	67	79	85	56	–	90	149	72	–	–	4	68	34	54	89	142	73	73	1199
60(R.6)	2024	72	–	80	75	80	54	–	77	166	81	–	–	–	69	33	69	86	135	85	75	1237
61(R.7)	2025	68	–	86	82	81	43	–	77	144	74	–	–	–	65	34	57	109	141	86	78	1225
合計		7,245	5,471	6,738	4,366	5,217	686	273	883	4,194	7,359	3,906	772	429	1,821	512	867	2,130	2,545	1,317	2,687	59,418

1961年４月	・大阪電気通信大学開学。工学部電子工学科設置
1962年４月	・工学部通信工学科設置
1965年４月	・工学部電子物性工学科、電子機械工学科、経営工学科設置
1975年４月	・工学部精密工学科、応用電子工学科設置
1990年４月	・大学院 工学研究科博士課程（前期)設置　総合電子工学専攻、制御機械工学専攻、情報工学専攻を設置
1992年４月	・大学院 工学研究科博士課程（後期）設置　総合電子工学専攻、制御機械工学専攻、情報工学専攻を設置
1995年４月	・工学部経営工学科の改組・転換により情報工学部情報工学科を設置
1996年４月	・工学部精密工学科を知能機械工学科に学科名称変更
1997年４月	・工学部電子物性工学科を電子材料工学科に学科名称変更 ・工学部応用電子工学科を光システム工学科に学科名称変更
1998年４月	・工学部第2部開設 電子工学科、知能機械工学科を設置　・工学部を工学部第1部に学部名称変更
1999年12月	・工学部経営工学科を廃止
2000年４月	・情報工学部を総合情報学部に学部名称変更　・総合情報学部メディア情報文化学科設置
2001年４月	・工学部第1部に医療福祉工学科を設置
2002年４月	・工学部第1部および工学部第2部知能機械工学科を機械工学科に学科名称変更
2003年４月	・総合情報学部デジタルゲーム学科設置
2004年４月	・大学院 総合情報学研究科メディア情報文化学専攻修士課程設置 ・工学部第1部医療福祉工学科廃止　・医療福祉工学部医療福祉工学科設置
2005年４月	・大学院 医療福祉工学研究科医療福祉工学専攻修士課程設置 ・大学院 総合情報学研究科デジタルゲーム学専攻修士課程設置 ・工学部第1部通信工学科、光システム工学科、総合情報学部情報工学科を改組転換し、情報通信工学部設置 ・総合情報学部メディアコンピュータシステム学科設置
2006年４月	・大学院 工学研究科電子通信工学専攻博士前期・後期課程設置 ・大学院 総合情報学研究科コンピュータサイエンス専攻修士課程設置 ・工学部第1部環境技術学科設置　・医療福祉工学部理学療法学科設置 ・工学部第1部電子材料工学科を応用化学科に学科名称変更 ・情報通信工学部光システム工学科を光・エレクトロニクス学科に学科名称変更 ・総合情報学部メディア情報文化学科をデジタルアート・アニメーション学科に学科名称変更
2007年４月	・大学院 医療福祉工学研究科博士後期課程設置　・大学院 総合情報学研究科博士後期課程設置 ・大学院 総合情報学研究科メディア情報文化学専攻をデジタルアート・アニメーション学専攻に名称変更 ・工学部第1部を工学部に学部名称変更　・工学部基礎理工学科設置
2008年４月	・医療福祉工学部健康スポーツ科学科設置
2009年４月	・工学部電子工学科を電気電子工学科に学科名称変更　・金融経済学部アセット・マネジメント学科設置
2011年４月	・工学部環境科学科設置
2011年６月	工学部第2部電子工学科を廃止
2012年４月	大学院 工学研究科総合電子工学専攻を先端理工学専攻に名称変更
2013年３月	情報通信工学部 光・エレクトロニクス学科廃止
2013年４月	大学 総合情報学部メディアコンピュータシステム学科を情報学科に学科名称変更
2013年６月	・総合情報学部 情報工学科廃止
2014年４月	・金融経済学部アセット・マネジメント学科を資産運用学科に学科名称変更
2018年４月	・工学部建築学科設置　・総合情報学部デジタルゲーム学科、ゲーム&メディア学科設置
2020年４月	・医療福祉工学部を医療健康科学部に学部名称変更　・医療福祉工学科を医療科学科に学科名称変更 ・大学院 工学研究科先端理工学専攻、制御機械工学専攻、情報工学専攻、電子通信工学専攻、計4専攻を改組転換、工学専攻を設置 ・大学院 総合情報学研究科デジタルアート・アニメーション学専攻、デジタルゲーム学専攻、コンピュータサイエンス専攻、計3専攻を改組転換、総合情報学専攻を設置
2020年12月	・総合情報学部 デジタルアート・アニメーション学科廃止
2022年４月	・大学院 工学研究科工学専攻に建築学コースを設置
2024年４月	・工学部建築学科を改組、建築・デザイン学部 建築デザイン学科 建築専攻／空間デザイン専攻を設置 ・基礎理工学科を改組、基礎理工学科数理科学専攻を設置・環境科学科を改組、基礎理工学科 環境化学専攻を設置
2025年４月	・医療健康科学部を改組、 健康情報学部 健康情報学科 医療工学専攻／理学療法学専攻／スポーツ科学専攻を設置

引用　大阪電気通信大学HP「学科・学部の変せん」より

一般社団法人大阪電気通信大学友電会 支部規程

（総則および目的）
第１条　本規程は、一般社団法人大阪電気通信大学友電会（以下「本会」という）定款第 52 条および第 53 条に基づき、友電会活動の活性化を目的として、支部の設置とその組織および運営に関して定める。

（支部の設置）
第２条　次の支部を設置する。
(1) 地域支部
都道府県を単位とした支部。ただし、都道府県単位で会員数が少なく、地域支部として活動が困難な場合は、複数の府県をまとめた「地域」単位で地域支部を設立することができる。
(2) 特別支部
卒業研究室、クラブ、同好会、同一勤務先等を母体とする支部。
(3) 関東総支部（以下「総支部」という）
関東地域における複数の地域支部を統括し、活動の調整および支援を行う広域支部。

（支部会員）
第３条　会員は、以下の支部のいずれか（重複可）に所属することができる（以下「支部」という）。
(1) 地域支部
支部が所在する地域の会員、および地域支部の活動に賛同する地域外に所在する会員。
(2) 特別支部
特別支部の母体となる組織に所属する会員。
(3) 総支部
関東総支部に所属する地域支部の会員、および関東総支部管轄内で支部のない地域に所在する会員。

２　支部会員名簿は、各支部が適切に管理し、支部活動のために利用する。

（支部事業）
第４条　支部は、支部会員の親睦および研鑽を図ることを目的として、以下の事業を行う。
(1) 通常総会
年１回開催し、活動方針、役員の選任、および事業の活動予算と決算を議決する。
(2) 臨時総会
支部活動の必要に応じて、役員の求めにより開催する。
(3) 研修会
支部役員または会員の求めにより支部会員の研鑽のために開催する。
(4) 懇親会
支部会員相互の親睦を図ることを目的として開催する。
２　支部は、事業のための助成金を「支部助成規程」に基づき、本会事業に協力し会の発展に寄与する活動を行うことを前提として受け取ることができる。

（総支部事業）
第５条　総支部は、関東地域内の支部活動を円滑に行うため、以下の事業を行う。
(1) 地域支部支援
単独で十分な活動が難しい地域支部の事業を支援する。
(2) 支部未設置地域の支援
関東地域内の支部のない地域に所在する会員に対し、支部設立やその他の事業を支援する。

（役員）
第６条　支部事業遂行のために、支部会員から選出された支部長１名、監事１名の役員をおく。必要に応じて、副支部長、会計、幹事を任命することができる。
２　支部長は、他の地域支部、特別支部の支部長を兼務できないものとする。

3　総支部役員は、総支部を構成する地域支部により選出する。

（支部総会への本会役員の出席）
第７条　各支部総会には、本会から会長または副会長のいずれか１名と、組織支援部会長が出席するものとする。都合がつかない場合は、代理出席を認める。

（支部総会およびイベントの手続き）
第８条　支部総会開催において、大学関係者の出席を要請する場合は、事務局を通して行うものとする。
2　支部総会および各種イベント計画は、開催の２か月前を目途に本会事務局へ報告し、広報のために本会事務局がホームページに掲載する。

（書類の提出）
第９条　支部長は、次の事項について本会に年１回報告書を提出しなければならない。
(1) 事業報告および次年度の事業計画
(2) 収支決算報告、会計監査報告および次年度の予算案
(3) 支部役員名簿
(4) 支部規程　ただし、規程に変更があった場合に限る。

（支部事業にかかる会計）
第 10 条　支部事業にかかる会計は、支部が管理し、毎年度末に以下の報告を本会に提出するものとする。
(1) 事業報告および次年度の事業計画
(2) 収支決算報告、会計監査報告および 次年度の予算案

（新支部設置の手続き）
第 11 条　支部を設置するには、次の手続きを行う。
(1) 発起人は「支部設置申請書」に必要事項を記載の上、本会事務局経由で組織支援部会に提出する。
(2) 組織支援部会は、前号の申請を速やかに理事会に諮り、承認を得て本会の支部として登録する。
(3) 支部設立に際しては、「支部助成規程」に基づき助成金を申請することができる。

（支部の廃止）
第 12 条　支部を廃止する場合は、代表者が「支部廃止届」を本会事務局経由で組織支援部会に提出し、理事会の承認を得る。

（廃止支部の再開）
第 13 条　廃止された支部を再開する場合は、新たに第 11 条の「支部設置申請書」を本会事務局経由で組織支援部会に提出するものとする。

（その他）
第 14 条　本規定に定めのない事項については、組織支援部会が全国支部長会と協議の上で案を作成し、理事会の承認を得るものとする。

付則
1. この規程は 2024 年（令和 6 年）4 月 20 日から施行する。
2. 支部および支部活動に関する定款の関係条文は以下の通り。
第 3 条、第 4 条、第 43 条、第 52 条、第 53 条

付則
1. この規程は 2025 年 7 月 5 日から施行する。
2. この規程を改定する場合は、組織支援部会の審議を経て理事会の決議により行うものとする。

一般社団法人大阪電気通信大学友電会支部助成規程

（目的）
第１条　本規程は、一般社団法人大阪電気通信大学友電会（以下「本会」という）定款第 52 条および第 53 条に基づき制定された「支部設置規程」に則り、支部の発展および活性化を目的とし、その活動等を助成するために定める。

（助成範囲）
第２条 支部助成の範囲は、次の通りとする。
（1）支部設置
（2）支部総会およびその他の活動（例：支部役員会、研修会等）

（支部設置の助成）
第３条　支部設置の助成は、次のとおりとする。
（1）支部設立準備に係る必要な経費は、理事会の決議により支給する。
（2）新たな支部設立の場合、組織支援部会の審議および理事会の承認により、最大 10 万円を支給する。ただし、支部設立後は、速やかに会計報告を本会事務局に届け出るものとする。

（助成の種類と金額）
第４条　支部助成の種類と金額は、各支部が下記のとおりとする。
（1）地域支部および特別支部の活動助成金
年１回 10 万円とする。
（2）支部総会開催の総会助成金（祝い金）
支部総会開催時に１万円を支給する。
（3）支部総会および研修会・懇親会の参加助成金
支部からの実施報告に基づき、総会および研修会・懇親会の正会員・準会員の参加者が 20 名を超過した場合は、１人当たり 5,000 円の上乗せ助成金を支給する（上限 10 万円）。
（4）イベント助成金
支部が計画するイベントに対する助成金は、内容および必要金額を事前に理事会に上程し、承認を得た場合は最大 10 万円を支給する。
なお、イベント事業の収支報告書は、その他の事業と区別して実施後速やかに本会へ報告するものとする。
（5）総支部の活動助成金
事業計画書および会計予算書の提出に基づき、実費（上限 10 万円）を支給する。

（連絡費および準備費）
第５条　支部の設立総会時の連絡費は、本会が全額負担する。
２　支部の会員との連絡にかかる費用は、年間上限 10 万円を実費で請求することができる。

（会計報告）
第６条　助成金は年度内に清算し、事業報告および収支決算書を本会に提出する。

（その他）
第７条　この規定に定めのない事項については、組織支援部会が全国支部長会と協議の上で案を作成し、理事会の決議を得るものとする。

付則
1. この規程は 2025 年７月５日から施行する。
2. この規程を改定する場合は、組織支援部会の審議を経て理事会の決議により行うものとする。

支部に所属される会員の皆様へ

日ごろは、友電会事業にご尽力いただきありがとうございます。

友電会の基本は、支部活動に在り！との考えに基づき支部を設置しております。(定款第 52 条および第 53 条)

友電会支部規程は、支部活動が活性化され充実することこそが本会の発展に結びつくものとの考えに基づいて、支部の設置とその組織および運営に関して定めています。

全国支部長会 (2025.6.14) を開催し、支部規程の改訂を説明・承認していただきました。ただし、関東総支部については保留としています。

各支部では、若年会員が参加できるよう工夫を凝らした総会や事業が展開されています。卒業生講師の「医療現場の実際」と題した講演会､後輩の学ぶ機会を提供する企画､社会人との座談会､学生サークルを招いた成果発表会的な事業など地域特別支部の特色を生かした取組が見られます。会員相互の親睦のため施設見学後の懇親会もあります。

喫緊の課題と位置付ける次世代を担う若年会員が集う事業展開をしていただくことを期待します。

（組織支援部会付副会長　三宅一宏）



医療現場の実際と題した講演会


現役学生と社会人の就職相談会

2025（令和７）年度 友電会支部総会･イベント　案内

地域支部および特別支部が予定しています総会を紹介します。友電会ホームページでは開催要項など詳しく案内していますので、ぜひ、支部活動にご参加ください。

	支部名	支部長名	予定日	会場	備考
1	神戸	幸村常一	4/12	三ノ宮東急REIホテル	実施済
2	OB柔会	長谷川慎二	6/7	寝屋川キャンパス	実施済
3	ワンゲルOB会	田谷利明	6/15	寝屋川キャンパス	実施済
4	医療福祉の会	岡崎浩也	6/28	四條畷キャンパス	実施済
5	産学マッチング	大平富義	7/4	寝屋川キャンパス	実施済
6	東海	藤田英治	10/11	※	
7	京都	兵藤敏夫	10/4	からすま京都ホテル	
8	北関東	坂手宏行	10/11	東天紅JACK大宮店	神奈川支部と合同
9	神奈川	杉田吉広	10/11	東天紅JACK大宮店	北関東支部と合同
10	びわこ	堀江健二郎	10/18	近江八幡市「すいれん」	ウォーリーズ建築の見学
11	九州	小松周治	11/15	福岡サンパレスホテル	
12	大阪	平岡　臨	11/15	河内ワイン(羽曳野)	
13	東京	蕭　炯森	12/6	東京都センターホテル	
14	奈良	松井俊樹	12/6	橿原神宮	
15	関東総	神山清明		※	
16	茨城	塩田善裕	10/25	MIRAIZAKA水戸市弘道館	見学会
17	千葉	神山清明		※	
18	電建会	松本康平		※	

※計画中

ホームカミングデーのお誘い

ときは 2025年 9月20日(土)

2019年度以降の卒業生は無料

ホームカミングデー【懇親会】

13:00～※事前申込制
会費 1,000円

軽食をご用意しておりますので、
お気軽にご参加ください。

場所
Z号館3F 学生ホール

あのバンドが帰ってくる

新旧バンドのコラボレーション



大学OBバンド The Blue Thunder Boys



ほっとらいん よし笛演奏ユニット



アコースティックグループ現役学生バンド

講演会

混沌とした世の中：未来に向けてできること

桑原　義幸氏
(KUWAHARA　Yoshiyuki)



講師紹介

○経　歴
日本電気株式会社(NEC)
官公ソリューション事業部門
エグゼクティブストラテジスト

○プロフィール
大阪府出身。1957年生。
工学部精密工学部卒。
ブリティッシュ・コロンビア大学に留学。

友電会サロン & Café Re:Charge Hub

ご休憩にお立ち寄りください
(どなたでもご利用できます)

時間 11:30～

場所　A号館1階　セミナールーム



友電会サロンの場所 玄関を入ってすぐ

大学祭では、A号館1階　セミナールームにご休憩処としてカフェ「Re:Charge Hub」を開き皆さまのご来店をお待ちしています。
一般社団法人大阪電気通信大学友電会は、会員相互の親睦と母校の発展に寄与できる事業を進めてきました。
今後は一社法人としての使命を自覚し、地域に貢献する組織として前進していきます。

【特典あり】
詳しいことは
右のQRコード
をスキャンして♪!
先着100様だけに
素敵なプレゼント･･･♡
事業推進企画部会　岡崎

タイムテーブル

11:00～	11:30～	13:00～14:00	14:15～	16:00～	17:00
大学祭 オープニング セレモニー	**講演会** 桑原義幸 氏 仮題　過去から未来へ ～キャリアが紡ぐメッセージ～ 【場所】 J号館　510教室	**ホームカミングデー【懇親会】** ※アルコール類なし ※2019年度以降の卒業生は無料 場所　Z号館3F　学生ホール	**第4回理事会**	**友電会サロン** 【演奏会】 ＊バンド演奏会 一緒にうたおう	**閉会式**